

6. 機器の監視

Web Image Monitor を使った設定について説明しています。

Web ブラウザーを使う

Web ブラウザーを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。この機能を Web Image Monitor といいます。

◆ どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の表示
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティーの設定

◆ 本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

◆ 推奨ブラウザ

- Windows 環境：
Internet Explorer 5.5 SP2 以降
Firefox 1.0 以降
- Macintosh 環境：
Firefox 1.0 以降
Safari 1.0、1.2、2.0 (412.2) 以降

↓ 補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。

- ブラウザーの [戻る] で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザーの [更新] または [再読み込み] をクリックしてください。
- Web Image Monitor で取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web Image Monitor のワークエリアに表示された [最新の情報に更新] をクリックしてください。
- Mac OS 10.4.1 上の Safari はご使用になれません。
- Firefox をご使用の場合、テーブルがくずれる、フォントや色が異なるなどの可能性があります。

トップページを表示する

Web Image Monitor の表示方法とトップページの説明です。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレスバーに「http:// (本機の IP アドレス、またはホスト名) /」と入力し、本機にアクセスします。

IPv4 アドレスを入力する場合、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」の場合は、「192.168.1.10」と入力します。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

サーバー証明を発行し、SSL (暗号化通信) の設定をしている場合は、「https:// (本機の IP アドレス、またはホスト名) /」と入力します。

Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。



1 ヘッダーエリア

ヘルプ、RICOH Homepage へのリンクや、キーワード検索用のダイアログが表示されます。

2 メニューエリア

ゲストモードと管理者モードとの切り替えのためのログイン / ログアウトボタンが表示され、それぞれのモードのメニュー項目が表示されます。

メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3 ヘルプ

ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりすることができます。

4 ワークエリア

トップページでは、現在の機器の状態を表示します。

また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の [最新の情報に更新] をクリックしてください。なお、Web ブラウザー画面全体を更新したい場合は、ブラウザーの [更新] をクリックしてください。

補足

- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。

ユーザー認証が設定されているとき

Web Image Monitor からのログインのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログインします。

1 [ログイン] をクリックします。

2 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

↓ 補足

- ・ユーザーコード認証のときは、ユーザー名にユーザーコードを入力して、[OK] をクリックします。
- ・ご使用の Web ブラウザーにより操作は異なります。

6

Web Image Monitor からのログアウトのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログアウトするときは、[ログアウト] をクリックします。

↓ 補足

- ・ログインをした場合、操作が完了したら、必ず [ログアウト] をクリックしてログアウトしてください。

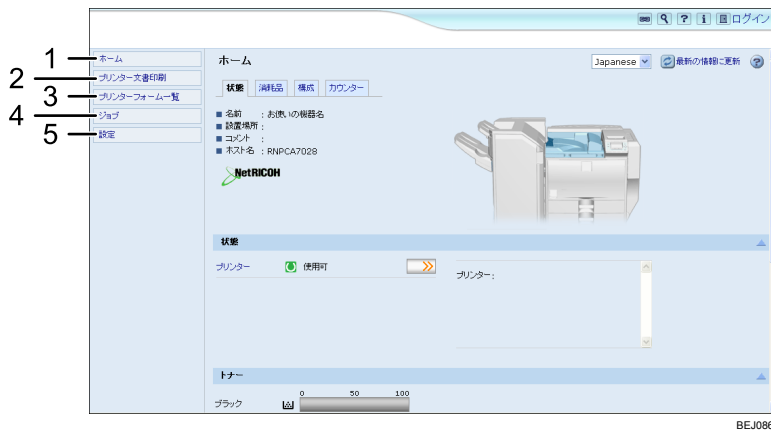
メニュー構成とモード

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

また、お使いの機種により表示される項目が異なります。

◆ ゲストモード

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。



1 ホーム

給紙トレイ、排紙トレイとトナー残量の状態表示、本機の機能、システム情報とカウンターの表示、および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2 プリンター文書印刷

試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書の一覧が表示されます。

3 プリンターフォーム一覧

イメージオーバーレイフォームの一覧が表示されます。

4 ジョブ

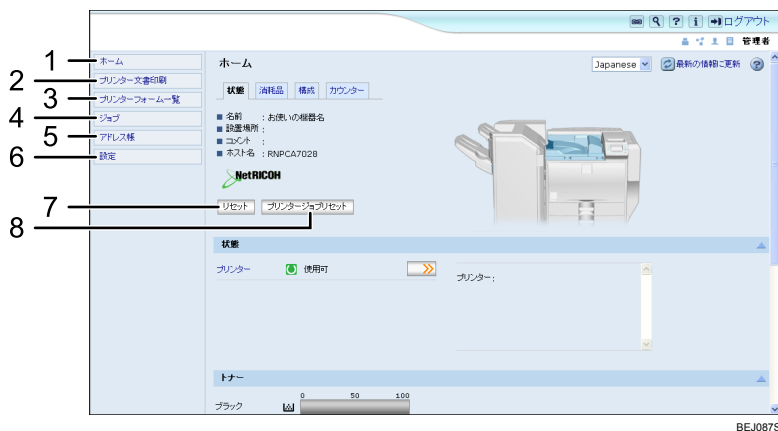
スプール印刷ジョブ、ジョブ履歴、エラー履歴の一覧表示、および試し印刷／機密印刷の一覧表示ができます。

5 設定

現在の本機の設定内容およびネットワーク設定の内容が表示されます。また、ヘルプファイルのダウンロードをすることができます。

◆ 管理者モード

管理者としてログインする管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。



1 ホーム

[状態] タブ、[消耗品] タブ、[構成] タブ、[カウンター] タブが表示され、ワークエリアに各タブの詳細情報が表示されます。

2 プリンター文書印刷

試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書の一覧が表示されます。

3 プリンターフォーム一覧

イメージオーバーレイフォームの一覧が表示されます。

4 ジョブ

各ジョブの一覧を表示することができます。

5 アドレス帳

本機を利用するユーザー情報の一覧が表示されます。

6 設定

本機のシステム設定やインターフェースの設定、ネットワーク設定、およびセキュリティの設定ができます。

7 リセット

トップページの [リセット] ボタンをクリックすると、実行中のジョブが終了次第、本機のプリンター機能をリセットします。

8 プリンタージョブリセット

トップページの [プリンタージョブリセット] ボタンをクリックすると、実行中のジョブ、または、実行中および待機中のすべてのジョブをリセットすることができます。

↓ 補足

- ・表示や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

管理者モードでアクセスする

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスする方法です。

- 1 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。



ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。



- 2 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

6

Web Image Monitor のヘルプについて

Web Image Monitor のヘルプを表示する方法です。

Web Image Monitor のヘルプをはじめてご使用になる場合、ヘッダーエリアに表示された 、またはワークエリアに表示された  をクリックすると設定画面が表示され、2 種類の方法で Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。



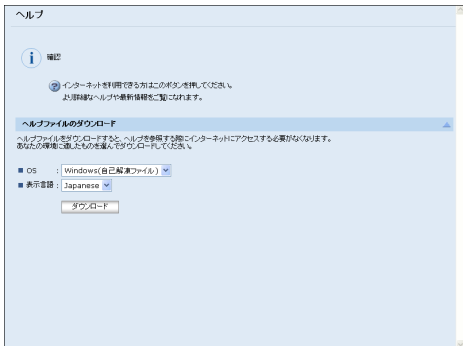
- ◆ インターネットの Web Image Monitor のヘルプを見る
最新の Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。
- ◆ Web Image Monitor のヘルプをダウンロードして見る
Web Image Monitor のヘルプをお使いのパソコンのローカルディスクへダウンロードして見ることができます。ヘルプの URL にローカルディスクのパスを指定すると、インターネットへ接続せずにヘルプを見ることができます。

↓ 補足

- ヘッダーエリアに表示された **?** をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示された **?** をクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

ヘルプのダウンロード

- 1 使用している OS をドロップダウンメニューから選択します。



- 2 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。
- 3 [ダウンロード] をクリックします。
- 4 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。
- 5 ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。
ダウンロードした Web Image Monitor のヘルプを見る場合は、解凍した場所のパスを設定してください。

ヘルプへのアドレス (URL) リンク

パソコンまたは Web サーバーのヘルプファイルに、ヘッダーエリアに表示された?のアドレス (URL) を次の手順でリンクすることができます。

- 1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。
- 2 左フレーム内の [設定] をクリックします。



- 3 [Webpage] メニューの [Webpage 設定] をクリックします。



- 4 「ヘルプリンク先設定」の [URL] にヘルプファイルへのパスを入力します。



例えば、C:\HELP\JA にヘルプファイルをコピーしていた場合、「file:///C:/HELP/」と入力します。また、Web サーバー上にファイルをコピーして URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html の場合、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。

- 5 [OK] をクリックします。

Ridoc IO Admin を使う

Ridoc IO Admin は TCP/IP プロトコルを使ってネットワーク上の機器を監視するソフトウェアです。ネットワーク上の複数の機器の管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

◆ Windows の対象 OS とプロトコルスタック

- Windows 2000 日本語版
Windows 2000 に同梱の TCP/IP プロトコル
Novell Client for Windows NT/2000/XP
- Windows Server 2003 日本語版
Windows Server 2003 に同梱の TCP/IP プロトコル
- Windows XP 日本語版
Windows XP に同梱の TCP/IP プロトコル
Novell Client for Windows NT/2000/XP
- Windows Vista 日本語版
Windows Vista に同梱の TCP/IP プロトコル
Novell Client for Windows NT/2000/XP/Vista

6

◆ どんなことができるのか？

Ridoc IO Admin では以下の操作ができます。

- 機器の操作部からの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数の機器を監視できます。機器の台数が多いときはグループを作り、管理しやすいように機器を分類できます。
- 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 機器のネットワークに関する設定を変更できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ユーザーコードごとのカウンター情報を確認できます。
- 登録されたユーザーコードごとに、印刷の利用可・不可を管理できます。
- 機器の状態変化をグループごとに設定し、通知することができます。
- メールを送信者名やフォルダの宛先を保護します。

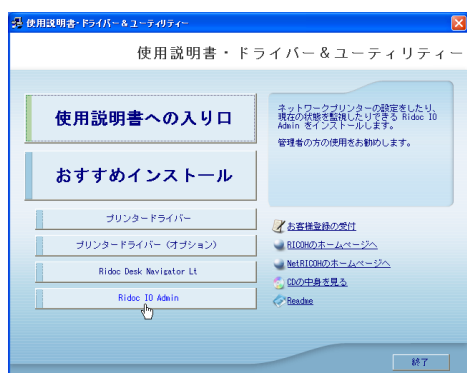
Ridoc IO Admin のインストール

Ridoc IO Admin のインストールについての説明です。

★重要

- ・起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

- 1 本機に同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。インストーラーが起動します。
- 2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Admin] をクリックします。



Ridoc IO Admin のセットアップ画面が表示されます。

- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 「使用許諾契約」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。
- 5 表示されるメッセージに従って Ridoc IO Admin をインストールします。インストールが完了するとメッセージが表示されます。
- 6 [完了] をクリックします。
「Windows の再起動」ダイアログが表示される場合は、Windows を再起動してください。

↓補足

- ・システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUPEXE」をダブルクリックして起動してください。

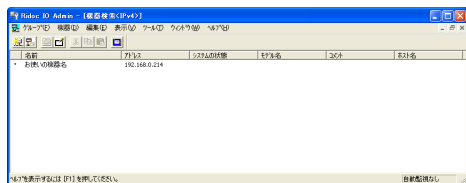
ネットワークインターフェースボードの設定を変更する

Ridoc IO Admin を使って、ネットワークインターフェースボードの設定を変更する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。



6

- 3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更する機器をクリックして反転表示させます。
- 4 [ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。
Web ブラウザーが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ネットワークインターフェースボードが初期設定の状態の場合、イーサネットボード設定ツールが起動します。表示スタイルから [Web ブラウザー] をチェックして、[OK] をクリックします。
- 5 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
- 6 必要な項目を入力し、設定します。
- 7 Web Image Monitor を終了します。
- 8 Ridoc IO Admin を終了します。

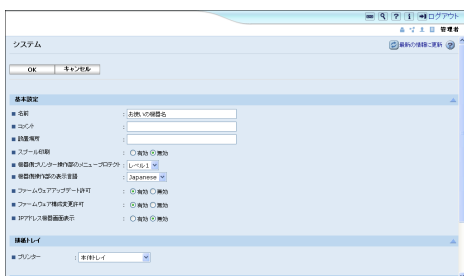
参照

- P.163 「Web ブラウザーを使う」

機器側操作部のメニューをロックする

機器側操作部のメニューをロックする方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 一覧から機器側操作部のメニューをロックしたい機器をクリックして反転表示させます。
- 4 [ツール] メニューの [機器側設定] をポイントし、[機器側操作部のメニューロック] をクリックします。
Web ブラウザーが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。
- 5 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
Web Image Monitor に機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。



- 6 Web Image monitor を終了します。
- 7 Ridoc IO Admin を終了します。

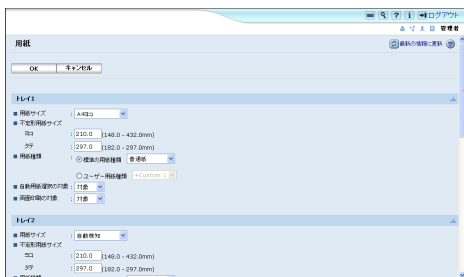
補足

- ・設定項目について詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

用紙種類を設定する

用紙種類を設定する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 一覧から用紙種類を設定したい機器をクリックして反転表示させます。
- 4 [ツール] メニューの [機器側設定] をポイントし、[用紙種類設定] をクリックします。
Web ブラウザーが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。
- 5 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して [OK] をクリックします。
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
Web Image Monitor に機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。



- 6 Web Image Monitor を終了します。
- 7 Ridoc IO Admin を終了します。

補足

- ・設定項目について詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

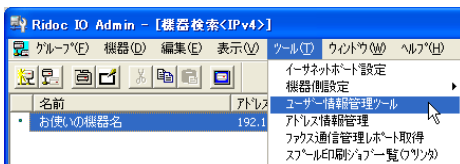
ユーザー情報を管理する

Ridoc IO Admin でユーザー情報を管理する方法の説明です。
ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザーコードごとの印刷枚数を管理したり、利用可能な機能を制限したりすることができます。

ユーザー情報管理ツールを起動する

ユーザー情報管理ツールを起動する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 一覧からユーザー情報を管理する機器をクリックして反転表示させます。
- 4 [ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。



ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

- 5 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスするときと同じログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
ユーザー情報管理ツールが起動します。



↓ 補足

- ・ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

印刷枚数を表示する

ユーザー別の印刷枚数情報を表示する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。



本機で印刷した枚数に関する情報が表示されます。

- 3 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

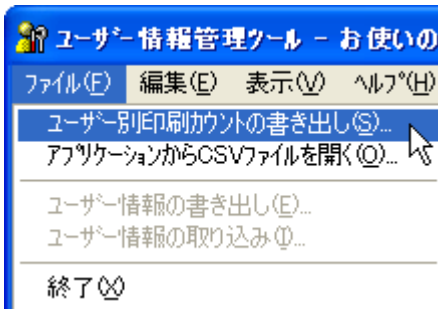
印刷枚数の情報を保存する

ユーザー別の印刷枚数情報を csv ファイルで保存する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 ユーザー情報管理ツールの [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。



- 3 [ファイル] メニューをクリックし、[ユーザー別印刷カウントの書き出し] をクリックします。



- 4 保存するフォルダとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。
- 5 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

印刷枚数の情報をリセットする

ユーザーごとに、印刷枚数の情報をリセットし、表示を0に戻す方法の説明です。

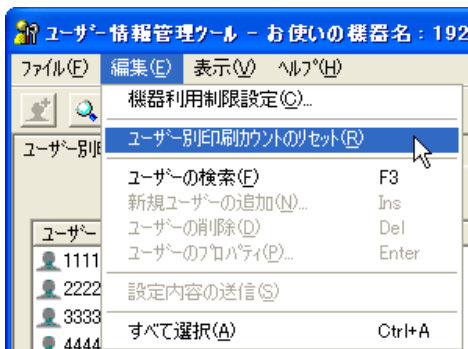
- 1 Ridoc IO Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 ユーザー情報管理ツールの [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。



- 3 リセットするユーザーをクリックします。



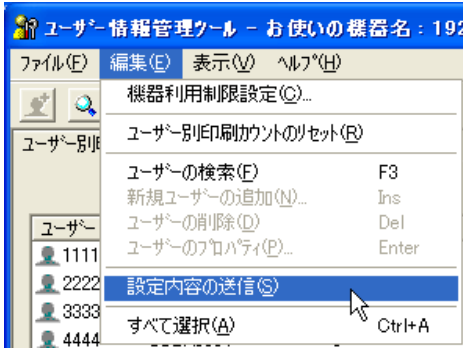
- 4 [編集] メニューをクリックし、[ユーザー別印刷カウントのリセット] をクリックします。



- 5 リセットする項目のチェックボックスにチェックを付け、[OK] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [編集] メニューをクリックし、[設定内容の送信] をクリックします。



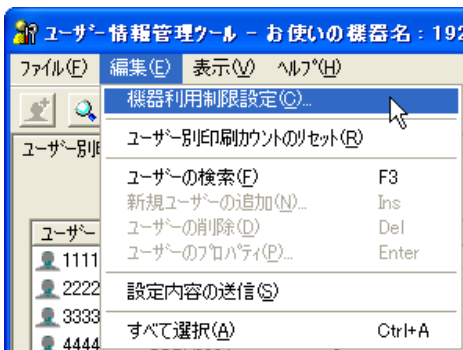
変更した情報が本機に反映されます。

- 8 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

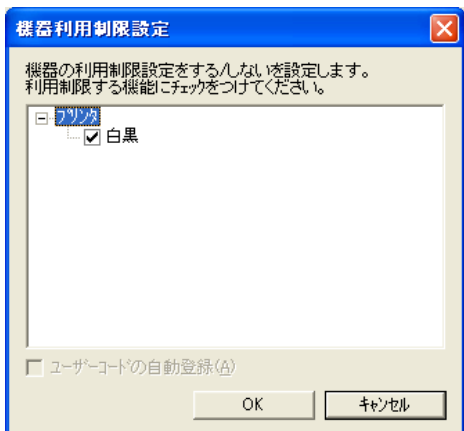
利用制限を設定する

本機の機能について、機能ごとに利用制限を設定する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 ユーザー情報管理ツールの [編集] メニューをクリックし、[機器利用制限設定] をクリックします。



3 利用制限を設定する機能のチェックボックスにチェックを付けます。



4 [OK] をクリックします。 設定内容が本機に反映されます。

5 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

6

ユーザーごとに利用可能な機能を設定する

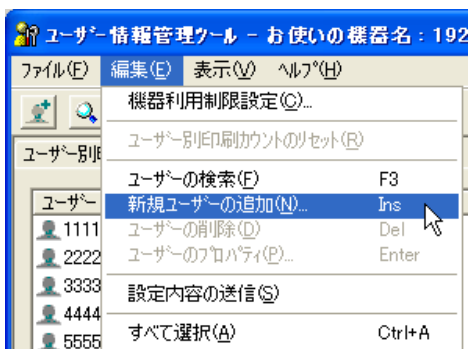
ユーザーごとに利用可能な機能を設定する方法の説明です。
ここでは、ユーザーを追加して利用可能な機能を設定する方法を説明します。

1 Ridoc IO Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。

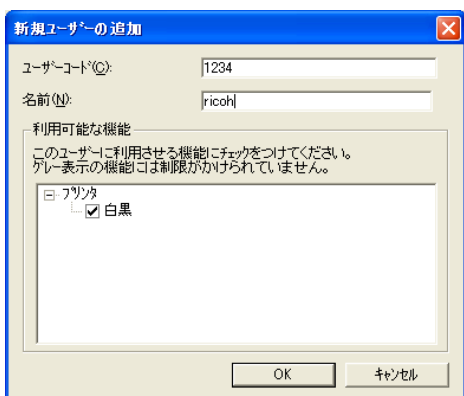


3 [編集] メニューをクリックし、[新規ユーザーの追加] をクリックします。



4 ユーザーコードと名前を入力します。

5 追加したユーザーに使用を許可する機能のチェックボックスにチェックを付けます。

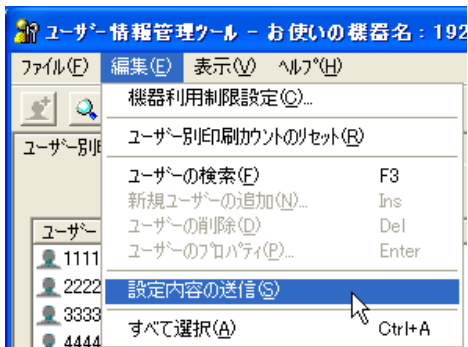


チェックボックスがグレーになっている機能は利用制限が設定されていません。

6 [OK] をクリックします。

ユーザーが追加されます。

7 [編集] メニューをクリックし、[設定内容の送信] をクリックします。



設定内容が本機に反映されます。

- 8 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

↓ 補足

- ・利用制限の設定方法について詳しくは、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

省エネモードを設定する

省エネモードを設定する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 一覧から省エネモードを設定する機器をクリックして反転表示させます。
グループ内の機器を全て設定したいときには選択する必要はありません。
- 4 [グループ] メニューをクリックし、[省エネモード] をポイントします。
グループ内の機器を全て設定する場合は [グループ機器] を選択します。選択した機器だけを設定する場合は [選択機器] を選択します。いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。
- 5 Ridoc IO Admin を終了します。

↓ 補足

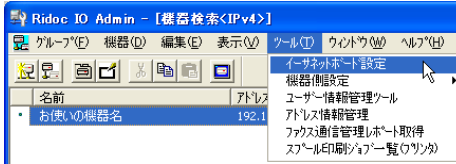
- ・省エネモードの設定値について詳しくは、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

パスワードを設定する

パスワードを設定する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 一覧からネットワークインターフェイスボードの設定を変更する機器をクリックして反転表示させます。

4 [ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。



Web ブラウザーが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

ネットワークインターフェースボードが初期設定の状態の場合、イーサネットボード設定ツールが起動します。画面の表示に従って設定をしてください。

5 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

6 [設定] をクリックします。

7 [機器] の [管理者登録 / 変更] をクリックし、設定を変更します。

8 Web Image Monitor を終了します。

9 Ridoc IO Admin を終了します。

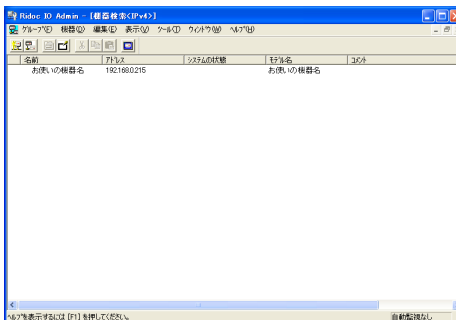
機器の状態を表示する

機器の状態を表示する方法の説明です。

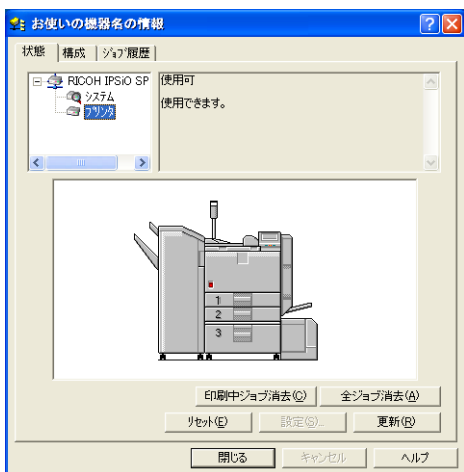
1 Ridoc IO Admin を起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。一覧に機器の状態がアイコンで表示されます。



- 3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたい機器をクリックして反転表示させ、[機器] メニューの [開く] をクリックします。選択した機器の状態が、ダイアログに表示されます。
- 4 [システム] または [プリンタ] をクリックします。機器の状態が表示されます。



- 5 Ridoc IO Admin を終了します。

補足

- ・ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

本体機器名とコメントを変更する

本体機器名とコメントを変更する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。機器の一覧が表示されます。IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 設定する機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。Web ブラウザーが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。
- 4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

- 5 [設定] をクリックします。
- 6 [機器] の [システム] をクリックし、設定を変更します。
- 7 Web Image Monitor を終了します。
- 8 Ridoc IO Admin を終了します。

↓ 補足

- ・[名前] には、本体機器名を半角英数字 31 バイト以内で入力します。
- ・工場出荷時には RNP で始まる名前が設定されています。RNP で始まる名前は入力できません。
- ・[コメント] には、機器のコメントを半角英数字 31 バイト以内で入力します。

スプール印刷ジョブの一覧を確認する

スプール印刷ジョブの一覧を確認する方法の説明です。

- 1 Ridoc IO Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 スプール印刷ジョブの一覧を確認したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [スプール印刷ジョブ一覧 (プリンタ)] をクリックします。
Web ブラウザーが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。
- 4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
Web Image Monitor にスプール印刷ジョブ一覧が表示されます。表示されたスプール印刷ジョブを削除することができます。

↓ 補足

- ・スプール印刷ジョブ一覧を表示するためには、あらかじめ本機のスプール印刷を [有効] に設定する必要があります。
- ・詳しくは、スプール印刷ジョブ一覧エリア内のヘルプを参照してください。

アドレス情報を管理する

アドレス情報を管理する方法の説明です。

- 1** Ridoc IO Admin を起動します。
- 2** [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[IPv4] または [IPv4 SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3** アドレス情報を管理する機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [アドレス情報管理] をクリックします。
ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。
- 4** ログインユーザー名とログインパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。
Web Image Monitor に管理者モードでアクセスするときと同じログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
アドレス情報管理ツールが起動します。

↓ 補足

- 詳しくは、アドレス情報管理ツールのヘルプを参照してください。

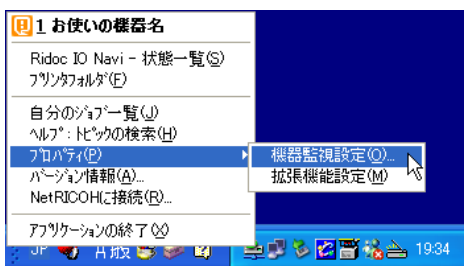
Ridoc IO Navi を使う

Ridoc IO Navi を使って機器を監視する方法の説明です。

監視する機器を設定する

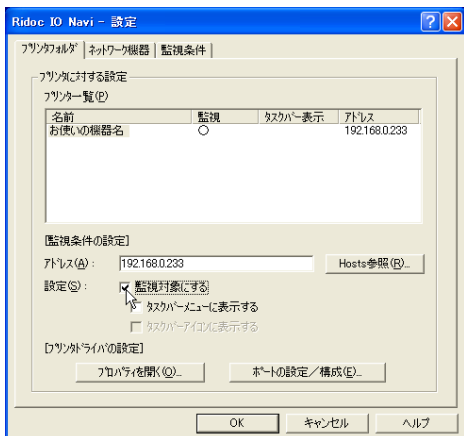
Ridoc IO Navi で監視する機器を設定する方法の説明です。

- 1 タスクバーの Ridoc IO Navi アイコンを右クリックし、表示されたポップアップメニューの [プロパティ] - [機器監視設定] をクリックします。



- 2 「Ridoc IO Navi- 設定」ダイアログが表示されます。

- 3 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、[設定] の [監視対象にする] にチェックを付けます。



[タスクバーアイコンに表示する] にチェックを付けると、タスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

- 4 [OK] をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

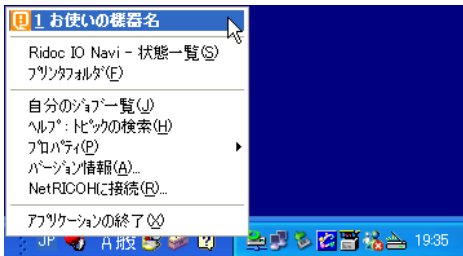
↓ 補足

- ・状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

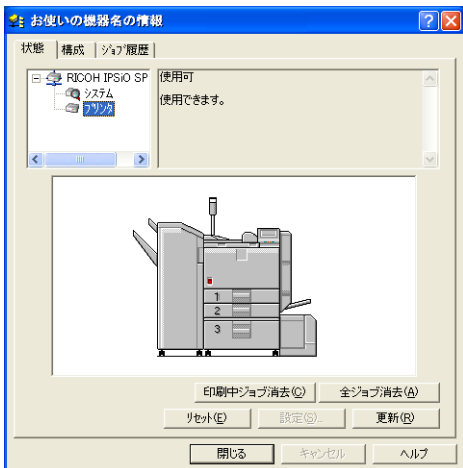
機器の状態を表示する

Ridoc IO Navi で機器の状態を表示する方法の説明です。

- 1 タスクバーの右端の Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。



機器の状態が、ダイアログに表示されます。



↓ 補足

- ・ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi で IPP を使用する場合

Ridoc IO Navi で IPP を使用する際の注意事項です。

- 本機が受け付ける Ridoc IO Navi からの印刷ジョブは、1 件のみです。本機が印刷中のとき、他のユーザーが Ridoc IO Navi を使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーの Ridoc IO Navi は、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Navi が本機に接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、本機に接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、本機が印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Navi からの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなって本機により印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要があります。
- 他のパソコンから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーが Ridoc IO Navi を使用して印刷しようとした場合、本機に接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Ridoc IO Navi がポート名として IP アドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。
- SSL を使用する場合、本機にアクセスするときは、「https:// (本機のアドレス) /printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer 6.0 以降を推奨します。
- 本機にアクセスするとき、[セキュリティの警告] が表示された場合、ご使用のパソコンに証明書をインストールする必要があります。この場合、[証明書のインポートウィザード] で証明書ストアの場所は、[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[信頼されたルート] の [ローカルコンピュータ] を選択します。

↓ 補足

- SSL (暗号化通信) について詳しくは、管理者にお問い合わせください。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態を通知することができます。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。

アラートを通知するタイミングや状態なども設定することができます。

通知設定できるものは、以下の通りです。

- ・ サービスコールが発生した場合
- ・ トナーがなくなった場合
- ・ トナーの残りがわずかになった場合
- ・ メンテナンスキット（ドラムユニット）が交換時期になった場合
- ・ 紙づまりがおきた場合
- ・ ドアオープンが検知された場合
- ・ 紙がなくなった場合
- ・ 紙の残りがわずかになって場合
- ・ 給紙トレイでエラーが発生した場合
- ・ 排紙トレイが満杯になった場合
- ・ ユニットの接続にエラーが発生した場合
- ・ 廃トナーが満杯になった場合
- ・ 廃トナーが満杯に近づいた場合
- ・ ログエラーになった場合
- ・ ステープルの針がなくなった場合
- ・パンチくずが満杯になった場合
- ・ ハードディスクの文書保存領域が満杯に近づいた場合
- ・ メンテナンスキット（ドラムユニット）の交換時期が近づいた場合
- ・ アクセス攻撃を受けた場合

1 本機の操作部を使用して、[システム設定]メニューの[メール通知設定]を[する]に設定します（工場出荷時は[する]に設定されています）。

2 Web ブラウザを起動し、Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。IPv4 アドレスを入力する場合、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」の場合は、「192.168.1.10」と入力します。SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer 6.0 以降を推奨します。Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。



ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

5 左フレーム内の [設定] をクリックし、[機器] をクリックして表示される [メール] をクリックします。

6 設定画面に示された以下の項目のうち、必要なものを設定します。

- ・ 管理者メールアドレス：機器に問題が発生した場合や消耗品の交換が必要な場合に、メール通知をする宛先の設定を行います。
- ・ 受信欄の各項目：メール受信の際に必要なプロトコルの設定を行います。
- ・ SMTP 欄の各項目：SMTP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
SMTP サーバーに対してメールの認証を行うこともできます。「SMTP 認証の場合」を参照してください。
- ・ POP before SMTP 欄の各項目：POP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
POP サーバーに対してメールの認証を行うこともできます。「POP before SMTP 認証の場合」を参照してください。
- ・ POP3/IMAP4 欄の各項目：POP3 サーバーまたは IMAP4 サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
- ・ メール受信ポート欄の各項目：メールサーバーにアクセスする際に使用するポートの設定を行います。
- ・ メール通知アカウント欄の各項目：要求時メール通知を使用する場合は設定を行います。

7 [OK] をクリックします。

「自動メール通知」の設定

- 1 左フレーム内の [設定] をクリックし、[機器] エリアの [自動メール通知] をクリックします。

通知項目に関する設定画面が表示されます。



2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- ・ 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- ・ 通知先グループ欄の各項目：通知先アドレスをグループ分けして設定できます。
- ・ 項目ごとの通知先欄の各項目：機器の状態やエラーなど、各通知項目ごとに、メールを送信するグループを設定できます。

項目の詳細を設定する場合は、[各項目の詳細設定:] の [編集] をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して [OK] をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザーを閉じます。

6

「要求時メール通知」の設定

1 左フレーム内の [設定] をクリックし、[機器] エリアの [要求時メール通知] をクリックします。



2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- ・ 共通件名：返信メールの件名に共通で付加する文字列を入力します。
- ・ 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- ・ 要求時メール通知のアクセス制限の各項目：機器の設定内容や状態など、分類された情報ごとに、アクセスを制限するかどうかを選択します。
- ・ 受信可能メールアドレス / ドメイン設定の各項目：メールで情報を要求し、返信メールとして情報を受け取ることができるメールアドレスまたはドメイン名を入力します。

- 3 [OK] をクリックします。
- 4 [ログアウト] をクリックします。
- 5 Web ブラウザーを閉じます。

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。

◆ SMTP 認証の場合

SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を行うことで SMTP サーバーの不正利用を防止します。

- 1) 左フレーム内の [設定] をクリックし、[機器] メニューの [メール] をクリックします。
- 2) 設定画面に示された以下の項目を設定します。
 - SMTP 認証：SMTP 認証の有効/無効を指定します。
 - SMTP 認証メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
 - SMTP 認証ユーザー名：SMTP アカウント名を半角の英数字で入力します。realmID を指定する場合には、SMTP 認証ユーザー名の後に @ realmID の形式で追加してください。
 - SMTP 認証パスワード：使用する SMTP アカウントのパスワードを設定します。
 - SMTP 認証暗号化：SMTP 認証を有効にした場合に、パスワードの暗号化を行うかどうかを選択します。
[自動選択]：認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。
[有効]：認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。
[無効]：認証方式が PLAIN、LOGIN の場合に指定します。
- 3) [OK] をクリックします。
- 4) [ログアウト] をクリックします。
- 5) Web ブラウザーを閉じます。

◆ POP before SMTP 認証の場合

メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーに対してログインを行うかどうかを選択します。

- 1) 左フレーム内の [設定] をクリックし、[機器] メニューの [メール] をクリックします。
- 2) 設定画面に示された以下の項目を設定します。
 - POP メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
 - POP ユーザー名：POP アカウント名を半角の英数字で入力します。
 - POP パスワード：使用する POP アカウントのパスワードを設定します。
 - POP 認証後待機時間：POP before SMTP を有効に設定した場合に、POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーに接続を開始するまでの時間を入力します。
- 3) [OK] をクリックします。
- 4) [ログアウト] をクリックします。
- 5) Web ブラウザーを閉じます。

要求時メールの送信

要求時メール機能を使用するためには、Web Image Monitor で以下の設定をしてください。

1 [機器] メニューの [メール] をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- ・メール通知用メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- ・メール通知の受信：要求時メール通知機能を使用するかどうかを選択します。
- ・メール通知ユーザー名：メールの送信者として管理者のユーザー名を入力します。
- ・メール通知パスワード：メール通知ユーザーのパスワードを設定します。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザーを閉じます。

◆ 要求時メールの形式

メール通知機能を使用するためには、設定した要求メールを本機に対して送信する必要があります。

お使いのメールソフトで、以下の形式で記述してください。

項目	内容
Subject (メールソフトでは「件名」などと表示される部分)	機器に対する要求内容を記述します。詳細は Subject フィールドを参照してください。
From (メールソフトでは「送信者」、「差出人」などと表示される部分)	有効なメールアドレスを指定してください。機器の情報はここで指定されたアドレスに送信されます。

↓ 補足

- ・メールの大きさは最大 1MB です。

◆ Subject フィールド

書式：devicestatus? 引数名 = パラメーター [& 引数名 = パラメーター [& 引数名 = パラメーター]]

↓ 補足

- ・英字の大文字と小文字は区別されません。
- ・引数名の記述順序は任意です。

Subject フィールドの記述例

記述例	動作
devicestatus?request=sysconfig&format=text&lang=en	機器のシステムコンフィグレーション情報が、英語のテキストフォーマットで送信されてきます。

記述例	動作
devicestatus?request=sysconfig	機器のシステムコンフィグレーション情報が、事前に設定されているメールフォーマットとメール言語で送信されてきます。

引数名一覧

引数名	意味	省略時の動作
request	取得したい情報	省略不可
format	メールフォーマット	メールアドレスごとに事前に、設定されているフォーマットでメールが送信されます。
lang	メール本文の言語	メールアドレスごとに事前に、設定されている言語でメールが送信されます。

取得情報指定時のパラメーター

取得情報	パラメーター
システム・コンフィグレーション情報	sysconfig
ネットワーク・コンフィグレーション情報	netconfig
プリンタ・コンフィグレーション情報	prtconfig
サプライ情報	supply
機器ステータス情報	status

メールフォーマット指定時のパラメーター

メールフォーマット	パラメーター
テキスト	text
HTML	html
XML	xml

Subject フィールドに HTML や XML など記述できますが、出力方式はテキストのみとなります。

メール本文言語指定時のパラメーター

言語	パラメーター
日本語	ja
英語	en

telnet を使う

telnet を使ってプリンターの状態や設定内容の確認や、各種の設定を行うことができます。

★重要

- ・リモートメンテナンス (mshell) はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- ・パスワードは Web Image Monitor による設定で使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

↓補足

- ・お使いの機種によっては、設定できないコマンドがあります。

操作の流れ

telnet を起動してから終了するまでの手順についての説明です。

★重要

- ・リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 本機の IP アドレス (またはホスト名) を引数にして telnet を起動します。
% telnet 本機のアドレス

2 ログイン名とパスワードを入力します。

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

ユーザー認証が設定されているときは、ログイン名にはログインユーザー名を、パスワードにはログインパスワードを入力してログインします。

3 コマンドを入力します。

4 telnet を終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enter キーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enter キーを押します。コマンド入力が続けるときは「return」と入力し、Enter キーを押します。

↓補足

- ・「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- ・変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- ・リセットしても Active 状態である印刷中、または印刷処理待ちの印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態であるプリンターへのファイル転送待ちのジョブは破棄されます。

access

アクセスコントロールの表示と設定は、access コマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> access
```

◆ IPv4 のアクセスレンジの設定

```
msh> access 対象 ID range 開始アドレス 終了アドレス
```

(例) アクセス可能な IPv4 のアドレスを 192.168.0.10 から 192.168.0.20 に設定する

```
msh> access 対象 ID range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

◆ IPv6 のアクセスレンジの設定

```
msh> access 対象 ID range6 開始アドレス 終了アドレス
```

(例) アクセス可能な IPv6 のアドレスを 2001:DB8::100 から 2001:DB8::200 に設定する

```
msh> access 対象 ID range6 2001:DB8::100 2001:DB8::200
```

◆ IPv6 のアクセスマスクの設定

```
msh> access 対象 ID mask6 基準アドレス マスク長
```

(例) アクセス可能な IPv6 のアドレスを 2001:DB8::/32 に設定する

```
msh> access 1 mask6 2001:DB8:: 32
```

◆ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

- アクセスコントロールの初期化は、全てのアクセスレンジを工場出荷時の設定に戻し、IPv4 環境では「0.0.0.0」に、IPv6 環境では「::」となります。

↓ 補足

- アクセスレンジは、印刷できるワークステーションを IP アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、IPv4 環境では「0.0.0.0」を、IPv6 環境では「::」を設定してください。
- アクセスレンジの設定で、開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- IPv4 と IPv6 の対象 ID は、それぞれ 1~5 の 5 件が設定できます。
- IPv6 は 1 件ごとにレンジとマスクが選択できます。
- IPv6 のマスク長は 1~128 の範囲で指定できます。
- 制限された IP アドレスからは、印刷の送信、および Web Image Monitor にアクセスすることはできません。

appletalk

AppleTalk 関連パラメーターの表示や設定は、appletalk コマンドを使用します。

◆ PAP の再送タイムアウト値変更の設定

- ```
msh> appletalk ptimeout 数値 > 0
```
- ・タイムアウト値の設定が有効になります。
- ```
msh> appletalk ptimeout 数値 = 0
```
- ・タイムアウト値の設定が無効になります。

authfree

プリンタジョブ認証時の認証を除外する IP アドレス範囲設定を行うには、authfree コマンドを使用します。認証除外制御の表示と設定方法は以下のとおりです。

◆ 現在の設定の表示

- ```
msh> authfree
```
- ・プリンタジョブ認証が認証除外に設定されていない場合、認証除外制御の情報は表示できません。

### ◆ IPv4 アドレスの設定

```
msh> authfree 対象 ID range_addr1 range_addr2
```

### ◆ IPv6 アドレスのレンジでの設定

```
msh> authfree 対象 ID range6_addr1 range6_addr2
```

### ◆ IPv6 アドレスのマスクでの設定

```
msh> authfree 対象 ID mask6_addr1 masklen
```

### ◆ IEEE 1284/USB の設定

- ```
msh> authfree [parallel|usb] [on|off]
```
- ・authfree 機能を有効するには「on」を、無効にするときは「off」を指定します。
 - ・インターフェースを必ず指定してください。

◆ 設定を工場出荷値に戻す

```
msh> authfree flush
```

↓ 補足

- ・IPv4 と IPv6 の対象 ID は、それぞれ 1~5 の 5 件が設定できます。

autonet

AutoNet 機能を使用するには、autonet コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> autonet
```

◆ AutoNet 機能の設定

```
msh> autonet {on|off}
```

- AutoNet 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

◆ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> autonet priority
```

◆ インターフェースの優先設定

```
msh> autonet priority インターフェース
```

- AutoNet パラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。
- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着しているときに有効です。
- wlan は、拡張無線 LAN ボードを装着しているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

↓ 補足

- 現在のインターフェース優先順位の表示は、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

📖 参照

- P.297 「AutoNet 機能を使用する」

bmlinks

BMLinkS の表示や設定は、bmlinks コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> bmlinks
```

◆ BMLinkS の設定

```
msh> bmlinks パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
devicename	ネットワーク共通名を設定、表示します。 デフォルトは PnP 名です。
country 文字列	国名情報を設定します。 デフォルトは JP です。

パラメーター	設定される項目
orgnz 文字列	会社／組織名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
branch 文字列	支店名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
building 文字列	ビル名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
floor 文字列	階数情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
block 文字列	ブロック名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
plainonly {on off}	平文による通信のみを行います。 デフォルトでは「off」に設定されています。
paused {always selectable none}	機密印刷の動作方式を設定します。 デフォルトでは「selectable」に設定されています。
timeout [30-65535]	印刷データの受信タイムアウト時間を設定します。 デフォルトでは 900 秒に設定されています。

◆ 設定のリセット

```
msh> bmlinks clear パラメーター
```

bonjour

Bonjour 関連の表示と設定は、bonjour コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> bonjour
```

◆ コンピューター名の設定

```
msh> bonjour cname 文字列
```

- ・ 文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。
- ・ 最大 63 個のアルファベットを使って、コンピューター名を設定できます。

◆ 設置場所情報の設定

```
msh> bonjour location 文字列
```

- ・ 文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。
- ・ 最大 32 個のアルファベットを使って、コンピューター名を設定できます。

◆ プロトコルごとの優先順位の設定

```
msh> bonjour diprint {0-99}
```

```
msh> bonjour lpr {0-99}
```

```
msh> bonjour ipp {0-99}
```

- ・ diprint、lpr、ipp それぞれの優先度を設定します。数字が小さいほど優先度が高くなります。

◆ IP TTL 値の設定

```
msh> bonjour ipttl {1-255}
```

- ・ IP TTL 値（越えられるルータの数）を設定します。初期値は 255 です。

◆ コンピューター名と設置場所情報のリセット

```
msh> bonjour clear {cname | location}
```

- ・ cname を指定するとコンピューター名をリセットします。本機を再起動すると、コンピューター名の表示は初期値になります。
- ・ location を指定すると設置場所情報をリセットします。設置場所情報の表示は空欄になります。

◆ インターフェースの設定

```
msh> bonjour linklocal インターフェース名
```

- ・ インターフェース名を省略した場合は、現在の設定値を表示します。
- ・ 複数のインターフェースが装着されている場合に、linklocal アドレスとの通信を行うインターフェースを設定します。
- ・ この設定をしない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。
- ・ wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

devicename

本体機器名の表示や設定は、devicename コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> devicename
```

◆ 本体機器名の設定

```
msh> devicename name 文字列
```

- ・ 本体機器名は 31 バイト以下で指定します。
- ・ 1 台の機器に複数の本体機器名を設定することはできません。

◆ 本体機器名の初期化

```
msh> devicename clear name
```

- ・ 本体機器名を工場出荷時の設定に戻します。

dhcp

DHCP の設定は、dhcp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> dhcp
```

◆ DHCP 機能の設定

```
msh> dhcp インターフェース {on|off}
```

- DHCP 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- DNS サーバーアドレスやドメイン名を DHCP から取得する場合、必ず「on」に設定してください。
- wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

◆ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> dhcp priority
```

◆ インターフェースの優先設定

```
msh> dhcp priority インターフェース
```

- DNS サーバーアドレスやゲートウェイアドレスが、どのインターフェースの DHCP サーバーのものを優先して利用するかを設定します。
- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

◆ DNS サーバーアドレスの選択

```
msh> dhcp dnsaddr {dhcp|static}
```

- DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
- DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

◆ ドメイン名の選択

```
msh> dhcp domainname {dhcp/static}
```

- ドメイン名を DHCP サーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
- ドメイン名を DHCP サーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

E 参照

- P.297 「DHCP を使用する」
- P.206 「dns」
- P.207 「domainname」

dhcp6

DHCPv6 の表示や設定は、dhcp6 コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

次の設定値が表示されます。

```
msh> dhcp6
```

◆ **設定と表示**

```
msh> dhcp6 "interface_name" lite {on|off}
```

◆ **DNS サーバーアドレスの選択の表示と設定 (dhcpv6 サーバー/ユーザー設定値から取得する場合)**

```
msh> dhcp6 dnsaddr {dhcp|static}
```

◆ **DUID (DHCP の ID) の削除と表示**

```
msh> dhcp6 duid clear
```

◆ **dhcpv6 から取得したパラメーターを再取得するのに要する時間の表示と設定**

```
msh> dhcp6 ooption lifetime [0-65535]
```

- ・ 0~65535 秒の間で設定できます。
- ・ 工場出荷時の設定値は 60 (分) です。
- ・ 0 を選択した場合、値を再取得することはできません。

6

diprint

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定は、diprint コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
```

```
timeout = 300(sec)
```

```
bidirect on
```

```
con multi
```

```
apl async
```

- ・ 「port」 使用するポート番号が表示されます。
- ・ 「bidirect」 ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

◆ **使用するポート番号の変更**

```
msh> diprint port [1024~65535]
```

- ・ 使用するポート番号を設定します。
- ・ 工場出荷時の設定値は 9100 です。

◆ **タイムアウトの設定**

```
msh> diprint timeout [30~65535]
```

- ・ ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定します。
- ・ 工場出荷時の設定値は 300 (秒) です。

◆ 双方向通信の有効/無効の設定

```
msh> diprint bidirect [on|off]
```

- diprint での双方向通信を有効にするには on、無効にするには off を指定します。

◆ 同時接続数の設定

```
msh> diprint conn {multi|single}
```

- diprint の同時接続数を multi (複数) か single (1) か設定します。

◆ 同期処理の設定

```
msh> diprint apl [async|sync]
```

- コネクション切断処理と APL 終了処理を、同期させる (sync) かさせない (async) かを設定します。

dns

DNS (Domain Name System) の表示や設定は、dns コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> dns
```

◆ IPv4 による DNS サーバーの設定

```
msh> dns 対象 ID server アドレス
```

- IPv4 による DNS サーバーアドレスを設定します。
- 対象 ID は 1~3 までです。3 件まで登録できます。
- 「255.255.255.255」は設定できません。

◆ IPv6 による DNS サーバーの設定

```
msh> dns 対象 ID server6 アドレス
```

- IPv6 による DNS サーバーアドレスを設定します。
- 対象 ID は 1~3 までです。3 件まで登録できます。

◆ ダイナミック DNS 機能の設定

```
msh> dns インターフェース ddns {on|off}
```

- ダイナミック DNS 機能の有効/無効を指定します。
- ダイナミック DNS 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

◆ レコード重複時の動作指定

```
msh> dns overlap {update|add}
```

- レコードが重複したときの動作を指定します。
- update は古いレコードを削除し、新しくレコードを登録するときに指定します。
- add は古いレコードを残し、新しいレコードを追加登録するときに指定します。
- CNAME の重複の場合は、設定にかかわらず更新を行います。

◆ CNAME の登録

```
msh> dns cname {on|off}
```

- CNAME を登録するかどうかを指定します。
- CNAME の登録を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 登録される CNAME は RNP からはじまるデフォルトの名前です。CNAME は変更できません。

◆ A レコードの登録

```
msh> dns arecord {dhcp|own}
```

- dhcp は本機を代行して、DHCP サーバが DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。
- own は本機が DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。登録には、「DHCP」で指定した「DNS サーバアドレスの選択」および「ドメイン名の選択」の値が使用されます。

◆ レコードの更新間隔の設定

```
msh> dns interval 更新間隔時間
```

- ダイナミック DNS 機能を使用しているときに、レコードを更新する間隔を指定します。
- 更新間隔を 1 時間単位で指定します。1~255 の間で指定します。
- 初期値は「24」です。

domainname

ドメイン名の表示や設定は、domainname コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> domainname
```

◆ 現在の各インターフェースのドメイン名表示

```
msh> domainname インターフェース
```

◆ 各インターフェースのドメイン名設定

```
msh> domainname インターフェース name ドメイン名
```

- ドメイン名は半角英数字 63 文字以下で指定します。
- イーサネットインターフェースと無線 LAN インターフェースは同じドメイン名になります。
- wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

◆ 各インターフェースのドメイン名削除

```
msh> domainname インターフェース clear name
```

help

使用できるコマンドの一覧および使用方法の表示は、help コマンドを使用します。

◆ コマンド一覧の表示

```
msh> help
```

◆ コマンド使用方法の表示

```
msh> help コマンド名
```

hostname

ホスト名を変更するには、hostname コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> hostname
```

◆ 現在の各インターフェースのホスト名表示

```
msh> hostname インターフェース
```

◆ 各インターフェースのホスト名の設定

```
msh> hostname インターフェース name ホスト名
```

- ・ホスト名は半角英数字 63 文字以下で指定します。
- ・RNP ではじまる名前は、大文字、小文字が混ざった場合でも設定できません。
- ・イーサネットインターフェースと無線LANインターフェースは同じホスト名になります。
- ・wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

◆ 各インターフェースのホスト名の初期化

```
msh> hostname インターフェース clear name
```

ifconfig

TCP/IP の、IP アドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスの表示や設定は、ifconfig コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> ifconfig
```

◆ IPv4 アドレスの設定

```
msh> ifconfig インターフェース アドレス
```

- ・この設定しない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。
- ・wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

(例) イーサネットインターフェースの IP アドレスを 192.168.15.16 に設定する
 msh> ifconfig ether 192.168.15.16

◆ IPv6 アドレスの設定

msh> ifconfig インターフェース名 inet6 アドレス プレフィックス長
 (例) イーサネットインターフェースの IPv6 アドレスを 2001:DB8::100、プレフィックス長を 64 に設定する
 msh> ifconfig ether inet6 2001:DB8::100 64

◆ ネットマスクの設定

msh> ifconfig インターフェース名 netmask アドレス
 (例) イーサネットインターフェースのサブネットマスクを 255.255.255.0 に設定する
 msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0

◆ ブロードキャストアドレスの設定

msh> ifconfig インターフェース broadcast アドレス

◆ インターフェース切り替え

msh> ifconfig インターフェース名 up
 (例) 接続時にイーサネットを使用する
 msh> ifconfig ether up

- 拡張無線 LAN ボード接続時に、イーサネットと無線 LAN のどちらを使用するか指定することができます。

↓ 補足

- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレスはイーサネットインターフェース、無線 LAN インターフェース共通です。
- TCP/IP の設定はイーサネットインターフェースと無線 LAN インターフェースで共通です。インターフェースの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェースが引き継ぎます。
- アドレスを 16 進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

info

給紙トレイ、排紙トレイ、およびエミュレーションなどの機器情報の表示は、info コマンドを使用します。

◆ 機器情報の表示

msh> info

☒ 参照

- P.230 「ネットワーク経由で確認できる情報」

ipds

ipds の表示と設定は、ipds コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

次の設定値が表示されます。

```
msh> ipds
```

ipp

IPP の使用環境の設定は、IPP コマンドを使用します。

◆ **現在の設定値の表示**

```
msh> ipp
```

◆ **タイムアウトの設定**

```
msh> ipp timeout [30~65535]
```

- ・印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は 30~65535 秒です。

◆ **IPP ユーザー認証方式の設定**

```
msh> ipp auth {basic|digest|off}
```

- ・IPP ユーザー認証を行って、IPP を使って印刷できるユーザーを制限することができます。工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。
- ・basic または digest で、認証を行います。
- ・ユーザー認証を行うように指定した場合、ユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは 10 組まで登録できます。

◆ **IPP ユーザー名の登録**

```
msh> ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
msh> Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
msh> IPP user name:user1
```

```
msh> IPP password:*****
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。
User configuration changed

ipsec

IPsec の表示と設定は、ipsec コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

次の設定値が表示されます。

```
msh> ipsec
```

↓ 補足

- ・表示項目については、セキュリティガイドを参照してください。

ipv6

IPv6 の使用環境の表示、設定は、ipv6 コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> ipv6
```

◆ ステートレスアドレスの有効／無効設定

```
msh> ipv6 stateless {on|off}
```

lpr

LPR の使用環境の表示、設定は、lpr コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> lpr
```

◆ ジョブ削除時におけるホストの同一性チェックの有効／無効設定

```
msh> lpr chkhost {on|off}
```

◆ プリンタエラー検知機能対応の有効、／無効設定

```
msh> lpr prnerrchk {on|off}
```

passwd

リモートメンテナンスのパスワードの変更は、passwd コマンドを使用します。

◆ パスワードの変更

```
msh> passwd
```

- [Old password:] が表示されるので、現在のパスワードを入力します。
- [New password:] が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
- [Retype new password:] が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

◆ スーパーバイザーによる各管理者のパスワード変更

```
msh> passwd 管理者 ID
```

- [New password:] が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
- [Retype new password:] が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

↓ 補足

- パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。
- 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で 3~8 バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。

pathmtu

PathMTU Discovery サービス機能の表示、設定は、pathmtu コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> pathmtu
```

◆ PathMTU Discovery サービス有効 / 無効の切替設定

```
msh> pathmtu {on|off}
```

- 工場出荷時は「ON」になっています。
- 送信データの MTU サイズが、ルータの MTU より大きいと、ルータから通過不可と通知され、送信に失敗することがあります。「ON」に設定をしていると、MTU サイズを最適化してデータ送信の失敗を避けることができます。
- 環境によってはルータからの通知が得られず、データ送信に失敗することがあります。その場合は設定を「OFF」にして、PathMTU Discovery サービスを無効にしてください。

prnlog

プリントログ情報の表示は、prnlog コマンドを使用します。

◆ プリントログ情報の表示

```
msh> prnlog
```

- これまでに印刷した最新の印刷ジョブ 20 件分のプリントログ情報が表示されます。

```
msh> prnlog {ID 番号}
```

- 表示されたプリントログ情報の ID 番号を指定すると、印刷ジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

📖 参照

- ・P.230 「ネットワーク経由で確認できる情報」

rhpp

rhpp プロトコル情報の表示、設定は rhpp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> rhpp
```

◆ 使用するポート番号の変更

```
msh> rhpp [1024~65535]
```

デフォルト値は 59100 です。

◆ タイムアウトの設定 (秒)

```
msh> rhpp timeout [30~65535]
```

デフォルト値は 300 (秒) です。

↓ 補足

- ・rhpp は RICOH Host Printing Protocol の略で、リコー独自のプロトコルです。

route

TCP/IP ルーティングテーブルの表示、設定は、route コマンドを使用します。

◆ IPv4 の該当 route 情報の表示

```
msh> route get {destination}
```

- destination は IPv4 のアドレスを指定します。
destination が 0.0.0.0 のアドレスは指定できません。

◆ 指定された IPv4 の destination の有効/無効の切り替え設定

```
msh> route active {host|net} destination {on|off}
```

- {host | net} 省略時は host 設定となります。

◆ IPv4 のルーティングテーブルへの追加設定

```
msh> route add {host|net} destination gateway
```

- destination で表される host(または network)ルートおよび gateway で表される gateway アドレスをテーブルに追加します。
- destination および gateway は IPv4 のアドレスを指定します。
- {host | net} 省略時は host 設定となります。

◆ IPv4 のデフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add default gateway
```

◆ IPv4 のルーティングテーブルからの削除設定

```
msh> route delete {host|net} destination
```

- {host | net} 省略時は host 設定となります。
- destination は IPv4 のアドレスを指定します。

◆ IPv6 のデフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add6 default gateway
```

◆ 指定された IPv6 の destination のルーティングテーブルへの追加設定

```
msh> route add6 {destination} prefixlen gateway
```

- destination および gateway は IPv6 のアドレスを指定します。

◆ 指定された IPv6 の destination のルーティングテーブルからの削除設定

```
msh> route delete6 {destination} prefixlen
```

- destination および gateway は IPv6 のアドレスを指定します。

◆ IPv6 の該当 route 情報の表示

```
msh> route get6 {destination}
```

- destination は IPv6 のアドレスを指定します。

◆ 指定された IPv6 の destination の有効/無効の切り替え設定

```
msh> route active6 {destination} prefixlen {on|off}
```

◆ 全 route 情報の削除設定

```
msh> route flush
```

↓ 補足

- IPv4 のルーティングテーブルの最大値は 16 です。
- IPv6 のルーティングテーブルの最大値は 2 です。

- ルーターを越えて別のネットワークのネットワーク機器とやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ゲートウェイアドレスはすべてのインターフェース共通になります。
- Prefixlen は 1~128 の 10 進数です。

set

プロトコルの情報の表示、有効/無効の設定は、set コマンドを使用します。

◆ デバイスの情報（有効/無効）の表示

```
msh> set parallel
msh> set usb
```

◆ プロトコルの情報（有効/無効）の表示

```
msh> set ipv4
msh> set ipv6
msh> set appletalk
msh> set smb
msh> set protocol
```

- protocol を指定すると、ipv4、ipv6、appletalk、smb の情報を表示します。

```
msh> set lpr
msh> set lpr6
msh> set ftp
msh> set ftp6
msh> set rsh
msh> set rsh6
msh> set diprint
msh> set diprint6
msh> set web
msh> set snmp
msh> set ssl
msh> set ssl6
msh> set nrs
msh> set rfu
msh> set rfu6
msh> set ipp
msh> set ipp6
msh> set http
msh> set http6
msh> set bonjour
msh> set nbt
msh> set ssdp
msh> set bmlinks
msh> set ssh
msh> set sftp
msh> set sftp6
```

◆ プロトコルの有効／無効の設定

- ・プロトコルを有効にするには up を、無効にするには down を指定します。

```
msh> set ipv4 {up|down}
```

- ・IPv4 でのみ通信可能の状態 で IPv4 を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。
- ・IPv4 を無効にすると、lpr、ftp、sftp、rsh、diprint、web、snmp、ssl、ipp、http、bonjour も使用できなくなります。

```
msh> set ipv6 {up|down}
```

- ・IPv6 でのみ通信可能の状態 で IPv6 を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。
- ・IPv6 を無効にした場合、lpr6、ftp6、rsh6、diprint6、ssl6、rfu6、ipp6、http6、sftp6 も使用できなくなります。

```
msh> set appletalk {up|down}
```

```
msh> set smb {up|down}
```

```
msh> set lpr {up|down}
```

```
msh> set lpr6 {up|down}
```

```
msh> set ftp {up|down}
```

```
msh> set ftp6 {up|down}
```

```
msh> set rsh {up|down}
```

```
msh> set rsh6 {up|down}
```

```
msh> set diprint {up|down}
```

```
msh> set diprint6 {up|down}
```

```
msh> set web {up|down}
```

```
msh> set snmp {up|down}
```

```
msh> set ssl {up|down}
```

```
msh> set ssl6 {up|down}
```

- ・本機に SSL (暗号化通信) の機能が無い場合は、有効に設定しても SSL (暗号化通信) を使用することはできません。

```
msh> set nrs {up|down}
```

```
msh> set rfu {up|down}
```

```
msh> set rfu6 {up|down}
```

```
msh> set ipp {up|down}
```

```
msh> set ipp6 {up|down}
```

```
msh> set http {up|down}
```

```
msh> set http6 {up|down}
```

```
msh> set bonjour {up|down}
```

```
msh> set ssh {up|down}
```

```
msh> set sstp {up|down}
```

```
msh> set bmlinks {up|down}
```

```
msh> set nbt {up|down}
```

```
msh> set sftp {up|down}
```

```
msh> set sftp6 {up|down}
```

show

ネットワークインターフェースボードの設定状況の表示は、show コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> show
```

- ・ -p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- ・ SMB プロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力したデータを正しく表示するためには、シフト JIS が表示できる環境で使用してください。

☒ 参照

- ・ P236 「ネットワークインターフェースボードの情報」

smb

コンピュータ名やワークグループ名など SMB 関連の項目の設定、削除は、smb コマンドを使用します。

◆ コンピュータ名の設定

```
msh> smb comp
```

- ・ RNP または rnp ではじまる名前は、大文字小文字が混ざった場合でも設定できません。

◆ ワークグループ名の設定

```
msh> smb group
```

- ・ 英数半角 15 文字以下で設定します。

◆ コメントの設定

```
msh> smb comment
```

- ・ 英数半角 31 文字以下で設定します。

◆ 印刷完了通知の設定

```
msh> smb notif {on | off}
```

- ・ 印刷完了通知をする場合は on、通知をしない場合は off を指定します。

◆ コンピュータ名の削除

```
msh> smb clear comp
```

◆ グループ名の削除

```
msh> smb clear group
```

◆ コメントの削除

```
msh> smb clear comment
```

◆ プロトコルの表示

```
msh> smb protocol
```

snmp

コミュニティ名など SNMP に関する表示、設定は、snmp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> snmp
```

- 登録番号 1 の工場出荷時の設定は次のとおりです。
 - コミュニティ名：public
 - IPv4 アドレス：0.0.0.0
 - IPv6 アドレス：::
 - アクセスタイプ：read-only
 - 有効プロトコル：IPv4/IPv6
- 登録番号 2 の工場出荷時の設定は次のとおりです。
 - コミュニティ名：admin
 - IPv4 アドレス：0.0.0.0
 - IPv6 アドレス：::
 - アクセスタイプ：read-write
 - 有効プロトコル：IPv4/IPv6
- p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- 登録番号を指定すると、その番号の現在のコミュニティ設定内容を表示します。

◆ SNMP 情報と使用可能なプロトコルの表示

```
msh> snmp ?
```

◆ コミュニティ名の設定

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

- 設定できる登録番号は 1~10 です。
- 登録番号の 1~10 に public が存在しない場合、Ridoc IO Admin や Ridoc IO Navi から機器を参照することはできません。コミュニティ名を変更した場合、Ridoc IO Admin とともにインストールされる「SNMP コミュニティ名設定ツール」で、機器側の設定に合わせてパソコンのコミュニティ名を変更してください。
- コミュニティ名は英数半角 15 文字以下で設定します。

◆ コミュニティ名の削除

```
msh> snmp 登録番号 clear name
```

◆ アクセスタイプの設定

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
no	アクセスできません (not accessible)
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)

◆ プロトコルの設定

```
msh> snmp {ipv4|ipv6} {on|off}
```

- 使用可能なプロトコルを選択します。

- ・プロトコルを有効にするには on を、無効にするには off を指定します。
- ・すべてのプロトコルを同時に Off にすることはできません。

◆登録番号ごとのプロトコルの設定

```
msh> snmp 登録番号 active {ipv4|ipv6} {on|off}
```

- ・登録番号ごとにプロトコルの設定を変更します。ただし、プロトコル設定で無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

◆アクセス設定

```
msh> snmp 登録番号 {ipv4|ipv6} アドレス
```

- ・使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。
- ・「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、IPv4、IPv6 の場合、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。
- ・「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、IPv4、IPv6 の場合、情報を通知するホストのアドレスを入力します。
- ・IPv4 を使用するときにはアドレスとして IPv4 アドレスを、IPv6 を使用するときには IPv6 アドレスを入力します。

◆sysLocation の設定

```
msh> snmp location 文字列
```

◆sysLocation の削除

```
msh> snmp clear location
```

◆sysContact の設定

```
msh> snmp contact 文字列
```

◆sysContact の削除

```
msh> snmp clear contact
```

◆SNMP V1V2 機能の設定

```
msh> snmp v1v2 {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆SNMP V3 機能の設定

```
msh> snmp v3 {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆SNMP TRAP の設定

```
msh> snmp trap {v1 | v2 | v3} {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆リモート設定許可の設定

```
msh> snmp remote {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆SNMP V3 TRAP の設定値の表示

```
msh> snmp v3trap
```

```
msh> snmp v3trap [1~5]
```

- ・1~5 までの数字を設定すると、その番号の設定値のみ表示します。

◆ SNMP V3 TRAP 送信先アドレスの設定

```
msh> snmp v3trap [1~5] {ipv4|ipv6} アドレス
```

◆ SNMP V3 TRAP 送信プロトコルの設定

```
msh> snmp v3trap [1~5] active {ipv4|ipv6} {on|off}
```

◆ SNMP V3 TRAP ユーザーアカウントの設定

```
msh> snmp v3trap [1~5] account アカウント名
```

- ・アカウント名は英数半角 32 文字以下で設定します。

◆ SNMP V3 TRAP ユーザーアカウントの削除

```
msh> snmp v3trap [1~5] clear account
```

◆ SNMP V3 暗号アルゴリズムの設定

```
msh> snmp v3auth {md5 | sha1}
```

◆ SNMP V3 暗号化の設定

```
msh> snmp v3priv {auto | on}
```

- ・ auto を設定すると、暗号化可能な場合に暗号化されます。
- ・ on を設定すると、平文通信は不可能となり、暗号化可能な場合のみ通信ができます。

↓ 補足

- ・暗号化可能な場合とは、暗号パスワードが設定されていることです。

6

sntp

SNTP の設定は、sntp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> sntp
```

◆ NTP サーバーアドレスの設定

```
msh> sntp server アドレス
```

◆ インターバルの設定

```
msh> sntp interval インターバル値
```

- ・設定した NTP サーバーと同期を取る間隔を指定します。工場出荷時の設定値は 60 (分) です。
- ・設定できる値は 0、15~10080 (分) です。
- ・0 を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけ NTP サーバーと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

◆ タイムゾーンの設定

```
msh> sntp timezone +/- 時間
```

- ・NTP サーバーから取得した時刻情報との時間差を設定します。設定値は **-12:00~+13:00** です。

spoolsw

スプール印刷の設定は、spoolsw コマンドを使用します。スプール印刷設定は diprint、lpr、ipp、SMB (TCP/IP(IPv4))、BMLinkS、WS-Printer、ftp および sftp プロトコルに対応しています。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> spoolsw
```

◆ スプール印刷機能の設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- ・スプール印刷機能を有効にするには on を、無効にするには off を指定します。

◆ ジョブの初期化の設定

```
msh> spoolsw clear job {on | off}
```

- ・本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、本機の電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定します。

◆ プロトコルの設定

```
msh> spoolsw diprint {on|off}
```

```
msh> spoolsw lpr {on|off}
```

```
msh> spoolsw ipp {on|off}
```

```
msh> spoolsw smb {on|off}
```

```
msh> spoolsw bmlinks {on|off}
```

```
msh> spoolsw ftp {on|off}
```

```
msh> spoolsw sftp {on|off}
```

```
msh> spoolsw wsprn {on|off}
```

- ・プロトコルごとにスプール印刷機能の有効、無効を設定します。

↓ 補足

- ・スプール印刷設定の spoolsw コマンドは、本機にハードディスクが装着されている場合に有効になります。

ssdp

SSDP 関連パラメーターの表示、設定は、ssdp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> ssdp
```

◆ 有効時間の設定

```
msh> ssdp profile [1801~86400]
```

- ・工場出荷時の設定値は 10800 (秒) です。

◆ Advertise パケットの TTL の設定

```
msh> ssdp ttl [1~255]
```

- ・工場出荷時の設定値は 4 です。

ssh

SSH および SFTP 関連パラメーターの表示と設定は、ssh コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の一覧表示

```
msh> ssh
```

◆ データ圧縮通信の設定

```
msh> ssh compression {on|off}
```

- ・工場出荷時の設定値は on です。

◆ ssh / sftp で通信するポートの設定

```
msh> ssh port [22,1024~65535]
```

- ・工場出荷時の設定値は 22 です。

◆ ssh / sftp で通信する際のタイムアウト確認 (生存確認) の時間設定

```
msh> ssh timeout [0~65535]
```

- ・工場出荷時の設定値は 300 です。

◆ ssh / sftp で通信する際のログインタイムアウトの時間設定

```
msh> ssh logintimeout [0~65535]
```

- ・工場出荷時の設定値は 300 です。

◆ ssh / sftp で通信する際の公開鍵、公開鍵鍵長 (Keylength) の作成

```
msh> ssh genkey {512|768|1024} 複雑化文字列 (Salt)
```

- ・工場出荷時の設定値は公開鍵鍵長 (Keylength) が 1024、複雑化文字列は NULL (無) です。

◆ ssh / sftp で通信する際の公開鍵の削除

```
msh> ssh delkey
```

↓ 補足

- ・設定値を省略した場合は、現在の設定を表示します。

status

本機の状態 (ステータス) と印刷ジョブの情報 (プリントジョブ情報) の表示は、status コマンドを使用します。

◆ 表示

```
msh> status
```

📖 参照

- ・P230 「ネットワーク経由で確認できる情報」

syslog

本機のシステムログ情報として記録されたメッセージの表示は、syslog コマンドを使用します。

◆ メッセージの表示

```
msh> syslog
```

☰ 参照

- ・ P.243 「システムログ情報」

upnp

ユニバーサル プラグ アンド プレイに関する表示、設定は、upnp コマンドを使用します。

◆ 公開 URL の表示

```
msh> upnp
```

◆ 公開 URL の設定

```
msh> upnp url 文字列
```

- ・ 「文字列」には URL 文字列を入力します。

web

Web Image Monitor 関連の表示、設定は、web コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> web
```

◆ リンク先として登録する URL の設定

```
msh> web x url http:// リンク先の URL または IP アドレス /
```

- ・ x は対象番号の 1~2 を指定します。2 件まで登録できます。

◆ リンク先として登録されている URL の削除

```
msh> web x clear url
```

- ・ x は対象 ID の 1~2 を指定します。

◆ リンク先として登録する URL のリンク名の設定

```
msh> web x name リンク名
```

- ・ x は対象 ID の 1~2 を指定します。

◆ リンク先として登録されている URL のリンク名の削除

```
msh> web x clear name
```

- ・ x は対象 ID の 1~2 を指定します。

◆ ヘルプの参照先 URL の設定

```
msh> web help http:// ヘルプの URL または IP アドレス
```

◆ ヘルプの参照先 URL の削除

```
msh> web clear help
```

wiconfig

無線 LAN の設定は、wiconfig コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> wiconfig
```

◆ 無線 LAN カードの情報の表示

```
msh> wiconfig cardinfo
```

- ・無線 LAN インターフェースが有効になっていない場合、拡張無線 LAN ボードの情報は表示できません。

◆ 設定

```
msh> wiconfig パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
mode {ap adhoc 802.11adhoc}	インフラストラクチャーモード (ap) 、または 802.11 アドホックモード (802.11 adhoc) の設定ができます。デフォルトは 802.11 アドホックモードです。
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時の SSID を設定できます。SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。802.11 アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。デフォルトは空白です。
channel frequency チャンネル番号	使用できるチャンネルは、以下のとおりです。 IEEE802.11a : 34、38、42、46 (J52) 36、40、44、48 (W52) 52、56、60、64 (W53) IEEE802.11b : 1~14 IEEE802.11g : 1~13

パラメーター	設定される項目
key 文字列 val {1 2 3 4}	<p>WEPキーを16進数で入力する場合に指定します。64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。WEPキーは4つまで登録できます。valで登録する番号を指定します。</p> <p>keyでWEPキーを指定すると、keyphraseで指定したWEPキーは上書きされます。この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じkey番号とWEPキーを設定してください。なお、入力するWEPキーの先頭に0xをつけます。val以降の指定は省略可能です。省略した場合、key番号は1になります。デフォルトは空白です。</p>
keyphrase 文字列 val {1 2 3 4}	<p>WEPキーをACSII入力する場合に指定します。64-bit WEPを使用する場合は、英数字5バイト、128-bit WEPを使用する場合には、英数字13バイトの文字列が使用できます。</p> <p>WEPキーは4つまで登録できます。valで登録する番号を指定します。</p> <p>keyphraseでWEPキーを指定すると、keyで指定したWEPキーは上書きされます。この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じkey番号とWEPキーを設定してください。val以降の指定は省略可能です。省略した場合、key番号は1になります。デフォルトは空白です。</p>
encval {1 2 3 4}	<p>4つのWEPキーのどれを使用してパケットを暗号化するかを指定します。</p> <p>番号を指定しない場合は「1」が設定されます。</p>
wepauth {open shared}	<p>WEP使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。</p> <p>open：オープンシステム認証（デフォルト） shared：シェアードキー認証</p>

パラメーター	設定される項目
rate {auto 11m 5.5m 2m 1m}	無線 LAN における通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。 設定値と通信速度は次のとおりです。 auto: 自動設定 (デフォルト) 11m:11Mbps 固定 5.5m:5.5Mbps 固定 2m:2Mbps 固定 1m:1Mbps 固定
security {none wep wpa}	セキュリティー方式を設定できます。 設定値と認証方式は次のとおりです。 none: 暗号化なし (デフォルト) wep:WEP 暗号化方式 wpa:WPA 暗号化方式
wpaenc {tkip ccmp}	WPA 使用時の WPA 暗号を選択できます。 設定値は次のとおりです。 tkip:TKIP (デフォルト) ccmp:CCMP(AES)
wpaauth {wpapsk wpa}	WPA 使用時の認証モードを設定できます。 設定値は次のとおりです。 wpapsk : WPA-PSK 認証 (デフォルト) wpa : WPA(802.1X) 認証
psk 文字列	Pre-Shared key を設定できます。 Pre-Shared key での入力できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 8 バイトから 63 バイトまでです。デフォルトは空白です。
eap {tls ttls leap peap} {chap mschap mschapv2 pap md5 tls}	EAP 認証タイプを設定できます。 tls :EAP-TLS (デフォルト) ttls : EAP-TTLS leap : LEAP peap : PEAP chap、mschap、mschapv2、pap、md5、tls はフェイズ 2 メソッドの設定となっており、EAP-TTLS、PEAP を選択する時に同時に指定する必要があります。また、その他の EAP 認証タイプでは省略する必要があります。「EAP-TTLS」を選択した場合は、chap、mschap、mschapv2、pap、および md5 が指定できます。「PEAP」を選択した場合は、mschapv2、および tls が指定できます。

パラメーター	設定される項目
username 文字列	Radius サーバへのログインユーザ名を設定できます。 使用できる文字は半角英数字と "@" 以外の表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 31 バイトまでです。デフォルトは空白となります。
username2 文字列	EAP-TTLS/PEAP のフェイズ 2 認証で使用するフェイズ 2 ユーザ名を設定できます。 使用できる文字は半角英数字と "@" 以外の表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 31 バイトまでです。デフォルトは空白です。
domain 文字列	Radius サーバへのログインドメインを設定できます。 使用できる文字は半角英数字と "@" 以外の表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 31 バイトまでです。デフォルトは空白です。
password 文字列	Radius サーバへのログインパスワードを設定できます。 文字は半角英数字と表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 128 バイトまでです。デフォルトは空白です。
svrcert {on off}	サーバ証明書の認証を設定します。 デフォルトは「off」です。
wiconfig imca {on off}	サーバ認証時に中間認証局を介在した場合の証明書の許可の設定ができます。 デフォルトは「off」です。
srvld 文字列	認証サーバをサーバ ID 及びサブドメインで設定できます。 文字は半角英数字と表示可能な半角記号 (ASCII 0x20~0x7e) で 128 バイトまでです。デフォルトは空白です。

wins

WINS サーバーの設定は、wins コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> wins
```

- ・ DHCP から取得した IPv4 アドレスと WINS の IPv4 アドレスが異なった場合、DHCP から取得した IPv4 アドレスが有効です。
- ・ DHCP から取得した IP アドレスと WINS の IP アドレスが異なった場合、DHCP から取得した IP アドレスが有効です。

◆ WINS 機能の設定

```
msh> wins インターフェース {on|off}
```

- ・ WINS 機能を有効するには on を、無効にするときは off を指定します。
- ・ インターフェースを必ず指定してください。
- ・ wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

◆ WINS サーバーのアドレス設定

```
msh> wins インターフェース {primary|secondary} IP アドレス
```

- ・ primary でプライマリ WINS サーバのアドレスを設定できます。
- ・ secondary でセカンダリ WINS サーバのアドレスを設定できます。
- ・ IP アドレスに、255.255.255.255 は指定できません。

◆ NBT (NetBIOS over TCP/IP) スコープ ID の設定

```
msh> wins インターフェース scope スコープ ID
```

- ・ スコープ ID は半角英数字 31 文字以内で指定します。
- ・ インターフェースを必ず指定してください。
- ・ wlan は、拡張無線 LAN ボードが装着されているときに指定できます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

wsmfp

WS-Device、WS-Printer の設定と表示は、wsmfp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> wsmfp
```

◆ コメントの設定

```
msh> wsmfp comments 文字列
```

- ・ 文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

◆ ロケーションの設定

```
msh> wsmfp location 文字列
```

- ・ 文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

◆ プレゼンテーション URL の設定

```
msh> wsmfp url URL
```

- ・ 「URL」 には URL 文字列を入力します。

◆ WS-Device の TCP ポートの設定

```
msh> wsmfp devport ポート番号
```

- ・ 初期値は 53000 です。

◆ WS-Printer の TCP ポートの設定

```
msh> wsmfp prnport ポート番号
```

- ・ 初期値は 53001 です。

◆ WS-Printer の受信タイムアウト（秒）の設定

```
msh> wsmfp prntimeout タイムアウト値 [30~65535]
```

- ・ 工場出荷時の設定値は 900（秒）です。

◆ コメントを初期化する

```
msh> wsmfp clear comments
```

◆ ロケーションを初期化する

```
msh> wsmfp clear location
```

◆ プレゼンテーション URL を初期化する

```
msh> wsmfp clear url
```

SNMP

SNMP を使って本機の情報を取得する方法の説明です。

本機内蔵のイーサネットインターフェース、および拡張無線 LAN ボードでは UDP 上で動作する SNMP (Simple Network Management Protocol) エージェントが組み込まれています。また、本機はユーザー認証、データの暗号化、アクセス制御のセキュリティー面が強化されている SNMPv3 にも対応しています。

SNMPv3 の暗号化通信を使用するためには、本機にセキュリティーオプションが装着されていることと、暗号パスワードが設定されていることが必要です。

★重要

- 本機のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、Ridoc IO Admin に同梱されている SNMP コミュニティ名設定ツールを使用して接続するパソコンの設定を変更してください。詳しくは SNMP コミュニティ名設定ツールのヘルプを参照してください。工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「admin」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得することができます。

◆ SNMP コミュニティ名設定ツールの起動

- Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし [プログラム] から [Ridoc IO Admin] をポイントして [SNMP コミュニティ名設定ツール] を起動します。
- Windows XP/Vista, Windows Server 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし [すべてのプログラム] から [Ridoc IO Admin] をポイントして [SNMP コミュニティ名設定ツール] を起動します。

◆ サポートしている MIB (SNMPv1/v2)

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB (リコーオリジナル)

◆ サポートしている MIB (SNMPv3)

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB (リコーオリジナル)
- SNMP-FRAMEWORK-MIB
- SNMP-TARGET-MIB
- SNMP-NOTIFICATION-MIB
- SNMP-USER-BASED-SM-MIB
- SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB

ネットワーク経由で確認できる情報

機器の状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

機器の状態

機器のステータスの確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されないステータスがあります。

- UNIX の場合
lpq コマンド、rsh、rcp、ftp の stat パラメーターを使います。
- mshell の場合
status コマンドを使います。

ステータス	意味
Canceling Job...	ジョブリセット中です。
Configuring...	設定変更中です。
Cover Open: Bridge Unit Left	中継ユニットの左カバーが開いています。
Cover Open: Bridge Unit Right	中継ユニットの右カバーが開いています。
Cover Open: Duplex Unit	両面ユニットのカバーが開いています。
Cover Open: Finisher Front	フィニッシャー前カバーが開いています。
Cover Open: Finisher Upper	フィニッシャー上カバーが開いています。
Cover Open: Front Cover	本体前カバーが開いています。
Cover Open: LCT	大容量給紙トレイのカバーが開いています。
Cover Open: Lower Right Cover	本体右下カバーが開いています。
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。
Energy Saver Mode	省エネモード中です。
Error: Ethernet Board	イーサネットボードに異常が発生しました。
Error: HDD Board	ハードディスクエラーが発生しました。
Error: Optional Font	プリンターのフォントファイルにエラーが発生しました。
Error: Optional RAM	オプションの SDRAM モジュールにエラーが発生しました。
Error: Parallel I/F Board	パラレルインターフェースにエラーが発生しました。
Error: PDL	ページ記述言語にエラーが発生しました。
Error: Rem. Certificate Renewal	証明書の自動更新時にエラーが発生しています。
Error: USB Interface	USB インターフェースにエラーが発生しています。

ステータス	意味
Error: Wireless Card	起動時に拡張無線 LAN ボードまたはワイヤレスインターフェースカードがありませんでした。 拡張無線 LAN ボードまたはワイヤレスインターフェースカードが起動後に抜かれました。
Full: Finisher	フィニッシャートレイが満杯です。
Full: Finisher Shift Tray	フィニッシャーシフトトレイが満杯です。
Full: Finisher Upper Tray	フィニッシャー上トレイが満杯です。
Full: Hole Punch Receptacle	パンチくずが満杯です。
Full: Waste Toner	廃トナーが満杯です。
Hex Dump Mode	ヘキサダンプモード中です。
It is not connectable with RCG (Basil).	リモートサービスに接続できません。本機またはRCGのネットワーク接続を確認してください。
Jobs Suspended	一時停止中です。
Low: Toner	黒トナーが残り少なくなりました。
Malfuction: Finisher	フィニッシャーに異常が発生しました。
Malfuction: Staple Unit	ステープルユニットに異常が発生しました。
Malfuction: Tray 1	給紙トレイ 1 に異常が発生しました。
Malfuction: Tray 2	給紙トレイ 2 に異常が発生しました。
Malfuction: Tray 3	給紙トレイ 3 に異常が発生しました。
Malfuction: Tray 4	給紙トレイ 4 に異常が発生しました。
Malfuction: LCT	大量給紙トレイに異常が発生しました。
Mismatch: Paper Size	選択された給紙トレイのサイズが、指定されたものと異なります。
Mismatch: Paper Size and Type	選択された給紙トレイの用紙種類とサイズが、指定されたものと異なります。
Mismatch: Paper Type	選択された給紙トレイの用紙種類が、指定されたものと異なります。
Near Replacing: MaintenanceKitA	ドラムユニットの交換時期が間近になりました。
Near Routine Maintenance Period	定期メンテナンス時期が間近になりました。
Nearly Full: Waste Toner	廃トナーがもうすぐ満杯です。
Need more Staples	ステープル針を補給してください。
No Paper: LCT	大量給紙トレイに用紙がありません。
No Paper: Selected Tray	指定されたトレイに用紙がありません。
No Paper: Tray 1	トレイ 1 に用紙がありません。
No Paper: Tray 2	トレイ 2 に用紙がありません。
No Paper: Tray 3	トレイ 3 に用紙がありません。
No Paper: Tray 4	トレイ 4 に用紙がありません。

ステータス	意味
Not Detected: Develop. Unit (K)	現像ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Duplex Unit	両面ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Fusing Unit	定着ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Input Tray	給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: Transfer Unit	転写ユニットセットが正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 1	トレイ 1 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 2	トレイ 2 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 3	トレイ 3 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 4	トレイ 4 が正しくセットされていません。
Not Detected: LCT	大量給紙トレイが正しくセットされていません。
Offline	プリンターがオフライン状態です。
Paper in Duplex Unit	両面ユニットに用紙が残っています。
Paper in Finisher	フィニッシャーに用紙が残っています。
Paper Misfeed: Duplex Unit	両面ユニットで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Finisher	フィニッシャーで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Input Tray	給紙トレイで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Internal/Output	本体内部で紙づまりが発生しました。
Printing	印刷中またはデータ受信中です。
Printing Suspended	印刷停止中です。
Proxy Address/Port Incorrect	プロキシアドレス・ポート番号の設定が正しく設定されていません。
Proxy User/Password Incorrect	プロキシユーザ名・パスワードが正しく設定されていません。
Ready	正常です。
Renewing Remote Certificate	Remote 証明書を更新中です。
Replace Maintenance Kit A	ドラムユニットの交換時期です。
Routine Maintenance Period	定期メンテナンス時期です。
SD Card Authentication failed	SD カードからの認証に失敗しました。
Supplies Order Call failed	消耗品発注コールに失敗しました。
There is no paper in a current tray.	指定されたトレイに用紙がありません。
Top-output unit calls Standard Tray instead 'Internal'.	本体排紙トレイが満杯です。
Tray Error: Duplex Printing	両面禁止トレイに両面印刷を指定したため、両面印刷設定トレイエラーが発生しました。
Warming Up...	準備中です。

↓ 補足

- ・エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、「テスト印刷メニュー」を参照してください。

☰ 参照

- ・P.280 「本機の状態表示」
- ・P.221 「status」
- ・P.131 「テスト印刷メニュー」

機器情報

機器の給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報の確認方法と、項目の説明です。

- ・UNIX の場合
rsh、rcp、ftp、sftp の info パラメーターを使います。
- ・mshell の場合
info コマンドを使います。

Input Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ名称が表示されます。
PageSize	ご使用の機器に装着されている給紙トレイに設定されている用紙サイズが表示されます。
Status	給紙トレイの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Normal : 正常 ・ NoInputTray : トレイなし ・ PaperEnd : 用紙なし

Output Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ名称が表示されます。
Status	排紙トレイの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Normal : 正常 ・ PaperExist : 用紙あり ・ OverFlow : 用紙が満杯 ・ Error : その他エラー

Emulation

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装備されているエミュレーション番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装備されているエミュレーション名が表示されます。
Version	ご使用の機器に装備されている、各エミュレーションのバージョンが表示されます。

E 参照

- P.209 「info」
- P.280 「本機の状態表示」

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得することができる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちジョブの情報の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
lpq コマンド、rsh、rcp、ftp、sftp の stat パラメーターを使います。
- mshell の場合
status コマンドを使います。

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 • 1st、2nd、3rd、4th... プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元のログインユーザー名が表示されます。
Job	印刷要求番号が表示されます。
Files	ファイル名が表示されます。
Total Size	印刷ジョブのデータサイズが表示されます。 ^{*1}

*1 複数のファイルを1ジョブとして投入した場合は、先頭ファイルのサイズが表示されます。

参照

- P.221 「status」
- P.280 「本機の状態表示」

プリントログ情報

これまでに印刷した過去20件分のジョブの記録の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
rsh、rcp、ftp、sftp の prnlog パラメーターを使います。
- mshell の場合
prnlog コマンドを使います。

項目名	意味
ID	印刷要求番号が表示されます。
User	印刷要求元のユーザー名、ワークステーション名、またはアドレスが表示されます。
Page	印刷したページ数が表示されます。

項目名	意味
Result	<p>通信結果が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Finished 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • Failed 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lpr コマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、sftp、rprinter では発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間が表示されます。

E 参照

- P.212 「prnlog」
- P.280 「本機の状態表示」

6

ネットワークインターフェイスボードの情報

ネットワークインターフェイスボードの設定内容の確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されない項目があります。

- mshell の場合
show コマンドを使います。

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコル利用設定
AppleTalk	
IPv4	
IPv6	
IPsec	
SMB	
Device Up/Down	デバイス利用設定
Parallel	
USB	
Ethernet interface	
Syslog priority	
NVRAM version	

項目名	意味
Device name Comment Location Contact Soft switch	
AppleTalk Mode Net Object Type Zone	AppleTalk 関連設定
TCP/IP Mode(IPv4) Mode(IPv6) ftp lpr rsh telnet diprint web http ftpc snmp ipp autonet bonjour ssl nrs rfu nbt ssdp bmlinks ssh sftp	TCP/IP のポートアドレスなどの設定

項目名	意味
WS-Device	
WS-Printer	
rhpp	
IPv4	
DHCP	
Address	
Netmask	
Broadcast	
Gateway	
IPv6	
Stateless	
Manual	
Gateway	
DHCPv6-lite	
DUID	
DHCPv6 option life time	
IPsec	
Manual Mode	
Excluded Protocol	
https	
dns	
dhcp	
wins	
EncapType	
Host name	
DNS Domain	
Access Control	アクセス制限設定
IPv4	
AccessEntry [X]	X は 1~5 まで設定できます。
IPv6	
AccessEntry [X]	X は 1~5 まで設定できます。
SNTP Server	時刻関連設定
Time Zone	
SNTP Server polling time	

項目名	意味
Phase 2 user name Phase 2 Method TTLS Phase 2 Method PEAP Server cert. Intermediate CA Server ID Sub domain MIC check	
DNS IPv4 Server[X] Selected IPv4 DNS Server IPv6 Server[X] Selected IPv6 Dns Server Resolver Protocol	DNS 動作／設定 X は 1～3 まで設定できます。 X は 1～3 まで設定できます。
Domain Name ether wlan DDNS ether wlan	
WINS ether Primary WINS Secondary WINS wlan Primary WINS Secondary WINS	WINS 動作／設定
SSDP UUID Profile TTL	SSDP 動作／設定

項目名	意味
ssh Compression Port TimeOut LoginTimeOut	ssh 動作／設定
AuthFree IPv4 AuthFreeEntry[X] IPv6 AuthFreeEntry[X] Parallel USB	認証除外動作／設定 X は 1～5 まで設定できます。 X は 1～5 まで設定できます。
LPR lprm check host lpr prnerrchk	
Certificate Verification	
WS-MFP Network Device Name Comments Location Presentation URL WS-Device TCP Port WS-Printer TCP Port WS-Printer Job Timeout MetadataVersion UUID	
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティーやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
rsh、rcp、ftp、sftp の syslog パラメーターを使います。
- mshell の場合
syslog コマンドを使います。

account is unavailable: same account name be used.

一般ユーザーアカウント名と管理者アカウント名が重複しているため、一般ユーザーアカウント名が無効になりました。どちらかのアカウント名を別のものにしてください

account is unavailable: The authentication password is not set up.

認証パスワードが設定されてなく、暗号パスワードのみ設定されているため、アカウントが無効になりました。暗号パスワードを削除するか、認証パスワードを入力してください。

account is unavailable: encryption is impossible.

暗号化できないため、アカウントが無効になりました。

add_sess_IPv4:bad trap addr:<IPv4 アドレス >, community:< コミュニティ名 >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPv4 のアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap 送信先ホストの IPv4 アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPv6:bad trap addr:<IPv6 アドレス >, community:< コミュニティ名 >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPv6 のアドレス [::] は無効です。Trap 送信先ホストの IPv6 アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPv4: community < コミュニティ名 > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。

add_sess_IPv6: community < コミュニティ名 > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。

adjust time server <NTP サーバ > offset:XX sec.

ncsd が NTP サーバとの時刻同期時に、システム時刻の修正結果を知らせます。
NTP サーバー：NTP サーバー名
offset：遅らせた秒数（マイナスの場合は進めた秒数）

authenticated

サブリカントは認証されました。

authenticating

サブリカントが、アクセスポイントとの認証処理（EAP または WPA）中です。

authentication mode mismatch

アクセスポイントの認証モードが、サブリカントが利用したいものと違います。サブリカントとアクセスポイントの認証モードを同じにしてください。

btd is disabled.

セキュリティーモード設定で btd が無効です。セキュリティーモード設定の btd を使用可にしてください。

centrod is disabled.

セキュリティーモード設定で centrod（パラレル）が無効です。セキュリティーモード設定の centrod（パラレル）を使用可にしてください。

child process exec error!（プロセス名）

ネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。

cipher suite mismatch

アクセスポイントのユニキャスト / マルチキャスト暗号化スイート（TKIP/AES/WEP）が、サブリカントが利用したいものと違います。

client EAP method rejected

RADIUS サーバが、サブリカントによって選択された EAP メソッドを拒絶しました。

Client password rejected

ユーザー名またはパスワードが正しくありません。ユーザー名とパスワードを確認してください。

Client TLS certificate rejected

クライアントの TLS において、証明書が拒否されました。証明書を確認してください。

connecting

サブリカントが、アクセスポイントとの無線接続待ちです。

Connected DHCPv6 server (IPv6 アドレス)

DHCP サーバーからの IPv6 アドレス取得に成功しました。

connection from <IP アドレス >

ホスト <IP アドレス > よりログインしました。

Current Interface Speed : < Ethernet I/F 速度 >

現在の Ethernet I/F の速度です。（10Mbps、100Mbps、または 1000Mbps）。

DHCPv6 server not found.

DHCP サーバーが見つかりません。ネットワーク上に DHCP サーバーが起動していることを確認してください。

Duplicate IP=< IP アドレス > (from < MAC アドレス >) .

本機に設定された IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが重複しています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示された MAC アドレスの機器をチェックしてください。

job canceled. jobid=< ジョブ ID >

エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされました。

IEEE 802.11 Card does NOT support WPA.

装着されている無線 LAN カードは、WPA をサポートしていません。WPA 対応の無線 LAN カードを装着してください。

IEEE 802.11 Card Firmware REV.< バージョン >

無線 LAN カードファームウェアのバージョンです。

IEEE 802.11 card removed

無線カードが取り除かれました。

IEEE 802.11 current channel < チャンネル番号 >

無線 LAN 使用時（アドホックおよびインフラストラクチャモードの場合）に動作中のチャンネル番号です。

IEEE 802.11 interface down

サブリカントに管理されている IEEE 802.11 のインターフェースが無効、またはアクセスポイントに接続できません。

IEEE 802.11 interface up

サブリカントに管理されている IEEE 802.11 のインターフェースが有効、またはアクセスポイントに接続されました。

IEEE 802.11 MAC Address = <MAC アドレス >

無線 LAN インターフェースの MAC アドレスです。

IEEE 802.11 SSID <ssid> (AP MAC Address <MAC アドレス >)

インフラストラクチャモード時の接続したアクセスポイントの SSID およびアクセスポイントの MAC アドレスです。

IEEE 802.11 < 通信モード > mode

無線 LAN の通信モードを表示します。

(IKE phase-1) mismatched encryption type : local= 暗号アルゴリズム 1 remote= 暗号アルゴリズム 2

IKE フェーズ 1 における本機の暗号アルゴリズム 1 と通信相手の暗号アルゴリズム 2 が一致しません。本機と通信相手の ISAKMP SA 暗号アルゴリズムを一致させてください。

(IKE phase-1) mismatched authentication type : local= 相手認証方式 1 remote= 相手認証方式 2

IKE フェーズ 1 における本機の相手認証方式 1 と通信相手の相手認証方式 2 が一致しません。本機と通信相手の ISAKMP 相手認証方式を一致させてください。

(IKE phase-1) mismatched DH group : local=DH グループ番号 1 remote=DH グループ番号 2
IKE フェーズ 1 における本機の ISAKMP SA Oakley グループ (DH グループ番号 1) と通信相手の ISAKMP SA Oakley グループ (DH グループ番号 2) が一致しません。本機と通信相手の ISAKMP SA Oakley グループを一致させてください。

(IKE phase-1) mismatched hash type : local= ハッシュアルゴリズム 1 remote= ハッシュアルゴリズム 2

IKE フェーズ 1 における本機の ISAKMP SA ハッシュアルゴリズム 1 と通信相手の ISAKMP SA ハッシュアルゴリズム 2 が一致しません。本機と通信相手の ISAKMP SA ハッシュアルゴリズムを一致させてください。

inetd start.

inetd を開始します。

Interface (インターフェース名) : Duplicate IP Address (< IP アドレス >) .

本体に指定された IPv4 または IPv6 アドレスが重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有のものでなければなりません。IP アドレスを再設定してください。

< Interface > started with IP: < IP アドレス >

インターフェースに IPv4 または IPv6 アドレスが設定されて、動作を開始しました。

< Interface >: Subnet overlap.

< Interface > に設定しようとした IPv4 アドレスと Netmask から導かれる Subnet 範囲が、ほかのインターフェースの Subnet 範囲と重なっています。各インターフェースの Subnet 範囲が重ならないように設定してください。

LEAP challenge to access point failed

アクセスポイントへの LEAP チャレンジが失敗しました。

LeaseTime=< リース時間 >(sec), RenewTime=< 更新間隔 >(sec).

DHCP サーバーから取得した IPv4 アドレスのリース時間は < リース時間 > 秒、更新時間は < 更新間隔 > 秒で表示されます。

Memory allocate error.

メモリ取得に失敗しました。ケーブルの抜き差しを行ってください。

MIC failure TKIP counter measures started

TKIP を用いているサブリカントが、60 秒以内に 2 箇所のデータ改ざんを見つけ、その対策を開始しました。

MIC failure TKIP counter measures stopped

TKIP を用いているサブリカントが、データ改ざんが見つかり対策を開始して 60 秒経ち、その対策を止めました。

Name registration success . WINS Server=<WINS サーバアドレス >NetBIOS Name=<NetBIOS 名 >
<WINS サーバアドレス > への <NetBIOS 名 > の名前登録が成功しました。

Name registration success in Broadcast name =<NetBIOS 名 >

ブロードキャストによる <NetBIOS 名 > の名前登録が成功しました。

- Name registration failed . name=<NetBIOS 名 >**
<NetBIOS 名 > の名前登録が失敗しました。NetBIOS 名を別の名前に変更してください。
- no RADIUS/authentication server**
サブリカントが、利用可能な RADIUS サーバがないというメッセージを受信しました。
- no smart card detected on device**
PEAP/GTC (Generic Token Card) が選択されましたが、GTC 認証でスマートカードが見つかりませんでした。
- no WPA information element in probe response, rescanning**
希望している SSID があるアクセスポイントからの Probe Response には、WPA の情報要素がありませんでした。サブリカントは、再スキャンしています。
- print sessions full**
接続要求がフルです。しばらくしてから再接続してください。
- Set context to<NDS コンテキスト名 >**
<NDS コンテキスト名 > を設定しました。
- server certificate invalid**
サブリカントが、サーバ証明書が無効であることを検知しました。
- server identity invalid**
サブリカントが、サーバ証明書が無効であることを検知しました。
- server not trusted**
RADIUS サーバーは信用できません。
- session_IPv4 <コミュニティ名 > not defined.**
認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
- session_IPv6 <コミュニティ名 > not defined.**
認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
- shutdown signal received . network service rebooting ...**
ネットワークのリポート処理を行います。
- SMTPC: failed to get smtp server ip-address.**
SMTP サーバーの IP アドレスを取得できません。DNS サーバーを探せないか、DNS サーバに指定した SMTP サーバの IP アドレスがありません。DNS サーバーの IPv4 または IPv6 アドレスを確認してください。または SMTP サーバの IP アドレスを確認してください。
- SMTPC: failed to connect smtp server. timeout.**
応答待ちでタイムアウトしたため、SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバー名が間違っている、ネットワークに接続されていない、またはネットワークの設定が間違っており、SMTP サーバーからの応答を取得できません。SMTP サーバ名とネットワークの接続と設定を確認してください。

SMTPC: refused connect by smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバーではないサーバーを指定したか、SMTP サーバーのポート番号が間違っています。SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または SMTP サーバの SMTP ポート番号を確認してください。

SMTPC: no smtp server. connection close.

SMTP プロトコルの応答が返ってこないため、SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバーではないサーバーを指定したか、SMTP サーバーのポート番号が間違っています。SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または SMTP サーバの SMTP ポート番号を確認してください。

SMTPC: failed to connect smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。ネットワークに接続されていない、ネットワークの設定が間違っている、SMTP サーバー名が間違っている、DNS サーバーの指定が間違っている、DNS サーバーに指定された SMTP サーバーの IP アドレスがない、SMTP サーバーではないサーバーを指定した、または SMTP サーバーのポート番号が間違っています。DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバの IP アドレス、SMTP サーバ名と SMTP ポート番号、SMTP サーバの SMTP ポート番号、ネットワークの接続と設定を確認してください。

6

SMTPC: username or password wasn't correct. [応答コード] (インフォメーション)

SMTP サーバーに認証接続できません。SMTP ユーザー名の指定が間違っているか、SMTP パスワードの指定が間違っています。SMTP ユーザー名、SMTP パスワードを確認してください。

Snmp over IPv4 is ready.

IPv4 上での SNMP 通信が可能です。

Snmp over IPv6 is ready.

IPv6 上での SNMP 通信が可能です。

snmpd start.

Snmpd を起動しました (電源 ON のみ表示します)。

stopped

サブリカントが停止しています。

success key received

サブリカントが EAP-Success キーを受け取りました

success but invalid key

サブリカントは EAP 認証が成功したというメッセージを受け取ったが、EAPOL キーが無効です。

There is problem in dhcp server operation.

複数の DHCP サーバを設置している場合は、機器に配布する IP アドレスの設定に DHCP サーバ間で矛盾がないかを確認してください。

trap account is unavailable.

v3Trap 送信先ユーザーアカウント名が、機器が管理するユーザーアカウント名とは別のものが指定されているため、そのユーザーアカウントでは v3Trap は送信されません。送信先ユーザーアカウント名を機器が管理するユーザーアカウント名に変更してください。

too many pictures.

1 回の印刷で指定する画像が多すぎるため、正常に印刷できませんでした。指定画像数を減らして印刷してください。

unauthenticated

認証に失敗しました。サブリカントが、アクセスポイントから拒絶されたか、認証されていない状態です。

Updated (オプション名) (値) via DHCPv6 Server

DHCPv6 サーバから取得したパラメータが更新されました。パラメータを新規で取得したとき、および以前取得したものに対して変更があったときに表示されるメッセージです。

usbd is disabled.

セキュリティモード設定により usbd が無効に設定されている場合に、usbd 起動後に出力されます。この場合、PnP および印刷はできません。セキュリティモード設定で、usbd を使用可にしてください。

waiting for keys

サブリカントがセッションキーを待っています。

WINS wrong scopeID =< スコープ ID >

不正なスコープIDが使用されています。正常なスコープIDを設定してください。

WINS name registration : No response to server (WINS サーバアドレス)

登録処理に対する応答がサーバからありません。WINS サーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINS サーバが正常に動作しているか確認して下さい。

WPA supplicant started

WPA サブリカントが起動しました。

WPA supplicant unbound

WPA supplicant unbound アクセスポイントには接続されていません。

write error occurred .(diskfull)

スプールファイル書き込み中にディスクフルが検知されました。印刷処理が進むと、HDD の空き容量が増えます。しばらくお待ちください。

write error occurred.(fatal)

スプールファイル書き込み中に致命的なエラーが発生しました。本体の電源を「Off」にし、再度「On」にしてください。それでも復帰しない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

参照

- ・ P.280 「本機の状態表示」

